

熊本

Kumamoto City
구마모토시

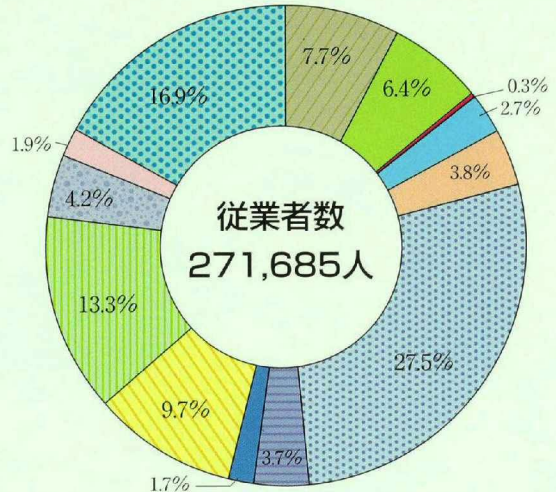
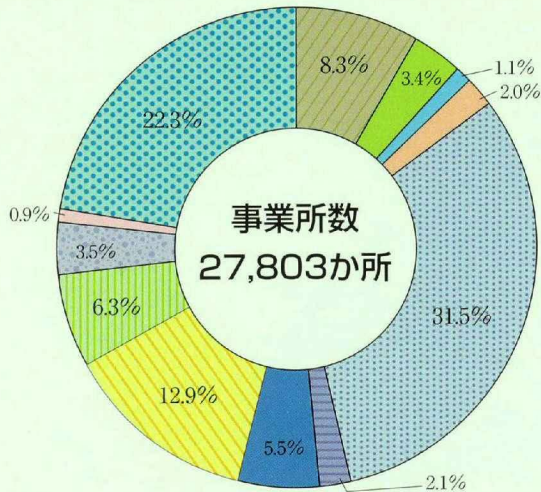
2010年
市勢要覧



正誤表

15頁の ■平成18年産業別構成、16頁の ■工業（従業者数4人以上）、28頁の市の予算に誤りがありましたので下記のとおりお詫びして訂正致します。

■平成18年産業別構成（民営）



- 農林漁業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 運輸業
- 金融・保険業
- 飲食店・宿泊業
- 教育・学習支援
- サービス業（他に分類されない）
- 鉱業
- 製造業
- 情報通信業
- 卸売・小売業
- 不動産業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業

- 農林漁業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 運輸業
- 金融・保険業
- 飲食店・宿泊業
- 教育・学習支援
- サービス業（他に分類されない）
- 鉱業
- 製造業
- 情報通信業
- 卸売・小売業
- 不動産業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業

熊本市の民営事業所は27,803事業所で、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービスを除くほとんどの事業所が減少となり、前回の29,998事業所から2,195事業所減少し（対前回増減率△7.3%）となっている。

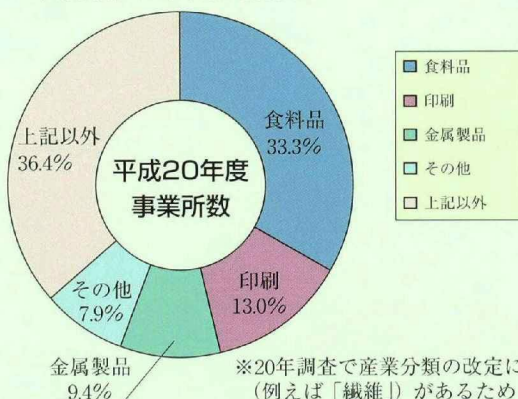
産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で構成比が31.5%、続いてサービス業22.3%となっており、この二つの産業で全産業の53.8%を占め、以下飲食店・宿泊業、建設業、医療・福祉、不動産業が続いている。

民営事業所の従業者数は、271,685人で4,866人減少し、対前回増減率△1.8%となっている。

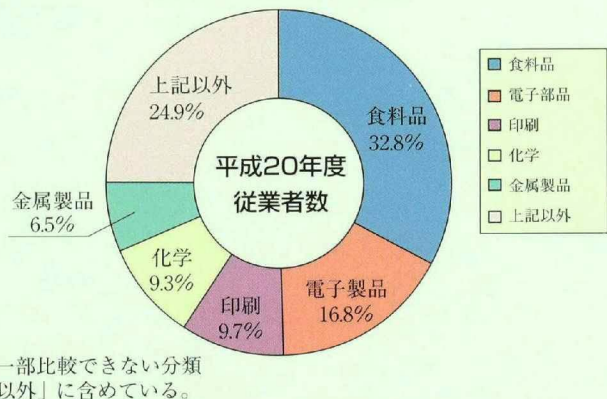
産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で74,787人（構成比27.5%）、続いてサービス業の48,058人（同16.9%）となっている。以下は、医療・福祉、飲食店・宿泊業、建設業、教育・学習支援業の順となっている。

■工業（従業者数4人以上）

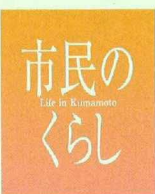
事業所数の産業中分類別構成比



従業者の産業中分類別構成比



※20年調査で産業分類の改定により、一部比較できない分類（例えば「繊維」）があるため「上記以外」に含めている。



市の予算 市民1人当り323,282円

● C O N T E N T S ●

熊本市(市の木・市の花・市の鳥・市の歌)目次	01
発刊にあたって	02
地域と気象	03
人 口	04
第6次総合計画	06
安全・安心	10
保健・福祉	11
教 育	13
生活環境	14
産業・経済・観光	15
財 政	18
政令指定都市をめざして	20
行 政	21
議 会	22
機 構	24
名誉市民	25
あゆみ	26
市民のくらし	28
資料編	29



熊本市章
ひらがなの「く」の字を図案化したもので、
市民の調和を基とし、たくましく発展する
熊本市の姿を太い円で示したものです。

市の木・市の花・市の鳥

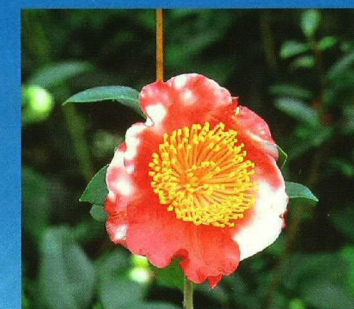
市木・市花 昭和49年10月9日制定
市 鳥 昭和59年5月22日制定



KUMAMOTO CITY TREE

市の木 イチョウ(イチョウ科)

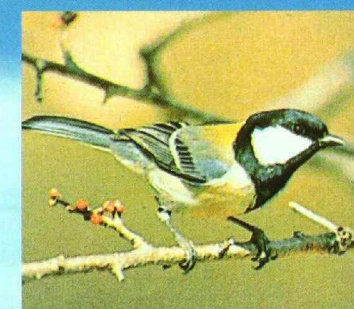
熊本市民には熊本城が銀杏城といわれているようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく知られている。



KUMAMOTO CITY FLOWER

市の花 肥後椿(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をはじめ寺社地の豪族等の愛好者によって広められ改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となったといわれている。肥後椿の特色は薄色の花弁が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄しべが梅芯のように盛りあがるところにある。



KUMAMOTO CITY BIRD

市の鳥 シジュウカラ

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声でさえずり、多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三山など森に多く生息し白い胸に黒ネクタイ状の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察される。
(写真は、東海大学出版会提供 フィールド図鑑より)

熊本市歌

東岡 正治作詞
鳥飼 哲夫作曲

一、雲峰阿蘇を遙かに望み

水白川の流れに沿いて

天下に名だたる古城の都

われらの都 大熊本市

二、常磐の緑 いらかを包み

森の都と世に謳われて

文運さかゆる平和の都

われらの都 大熊本市

三、商工立市の営みしげく

いま新興の光に満ちて

生気ぞあふるる文化の都

われらの都 大熊本市

四、輝く進取の旗ひるがえし

西日本の最中に立ちて

いざいざ築かむ理想の都

われらの都 大熊本市



発刊にあたって

Kumamoto City

熊本市は、清冽な地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれ、熊本城をはじめとする優れた歴史遺産や豊かな伝統文化を受け継ぐ九州中央の拠点都市です。

本市は一昨年の富合町との合併に続き、本年3月23日、城南町、植木町と合併し、人口約73万人の新「熊本市」として新たな一歩を踏み出しました。

さらに本年は、この新「熊本市」にとって、政令指定都市の実現に向けて大きく動き出す「飛躍の年」となります。現在、県からの事務移譲等の準備を進めているところであり、皆様と共に新たな都市ビジョンを描き、平成24年4月の政令指定都市移行を目指してまいります。

このような中、本市は昨年、「第6次総合計画」を策定し、10年後を見据えた新しい熊本づくりをスタートさせたところであり、「湧々都市くまもと」を目指し、本年も市民の皆様と協働で、この計画に掲げる重点施策に取り組むこととしています。

まず、一年後に迫った九州新幹線鹿児島ルート^{わくわく}の全線開業に向けて、熊本駅前東A地区の再開発事業や西口駅前広場の整備、熊本駅を中心とした交通網の整備など、熊本の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを進めます。

また、中心市街地におきましても、「熊本城桜の馬場観光交流施設」の整備に着手したところであり、城下町の再生に向けて、熊本城を核とした新たな賑わい空間を創り上げていきます。

このほか、自治基本条例の施行や都市ブランドの発信をはじめ、福祉、教育、環境等、各分野で特色のある施策を展開し、存在感があり、日本一住みやすく暮らしやすいまちづくりを目指してまいります。

最後になりますが、この「2010市勢要覧」が皆様方のこのような本市の取り組みをご理解いただく一助となりますれば、大変幸いに存じます。

2010年4月

熊本市長 幸山 政史

Kumamoto City



地域と気象

Kumamoto City

本市は九州の中央、熊本県の西北部に位置し、平成22年3月23日に植木町・城南町と合併し、さらに南北に広がりました。

地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯、南部は白川の三角洲で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

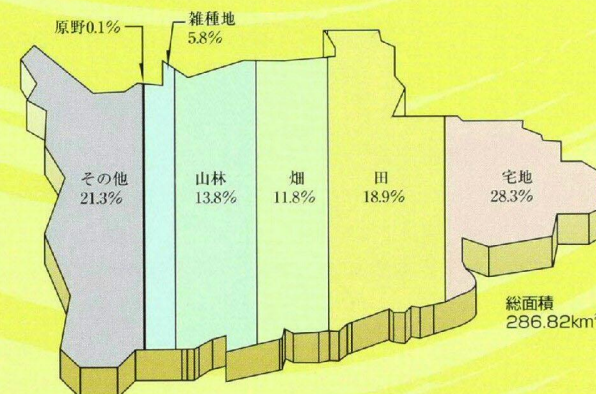


位置・面積
(熊本市役所)
東経 130°42'29"
北緯 32°48'12"
東西 23.2km
南北 35.5km
面積 389.53km²

(注) 位置、面積については「平成21年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。
距離については「理科年表」による経度・緯度の1秒の長さから算出した。
距離と面積の数値には旧植木町、旧城南町分も含む。

■地目別土地面積

(平成21年1月1日現在)

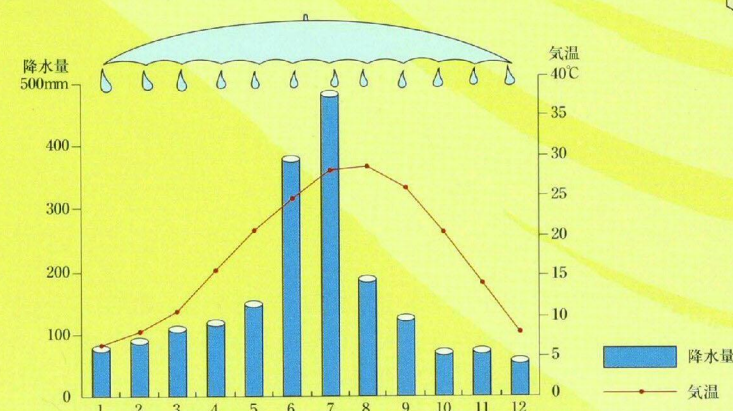


資料：資産税課

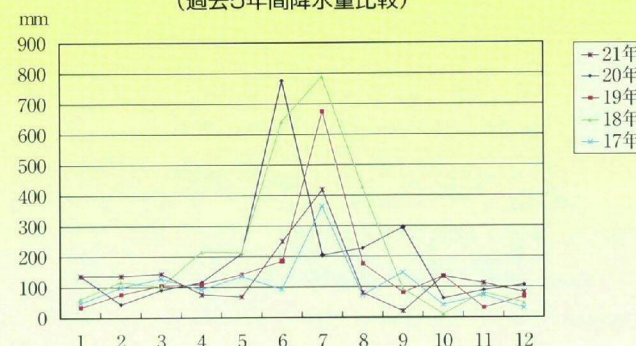
(注) 面積については「平成20年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。

■気温と降水量の月別変化

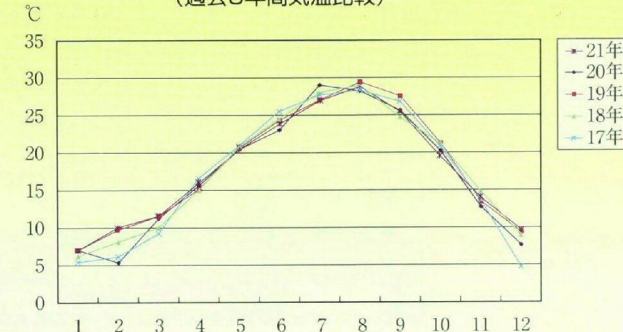
(平成17年～平成21年平均)



(過去5年間降水量比較)

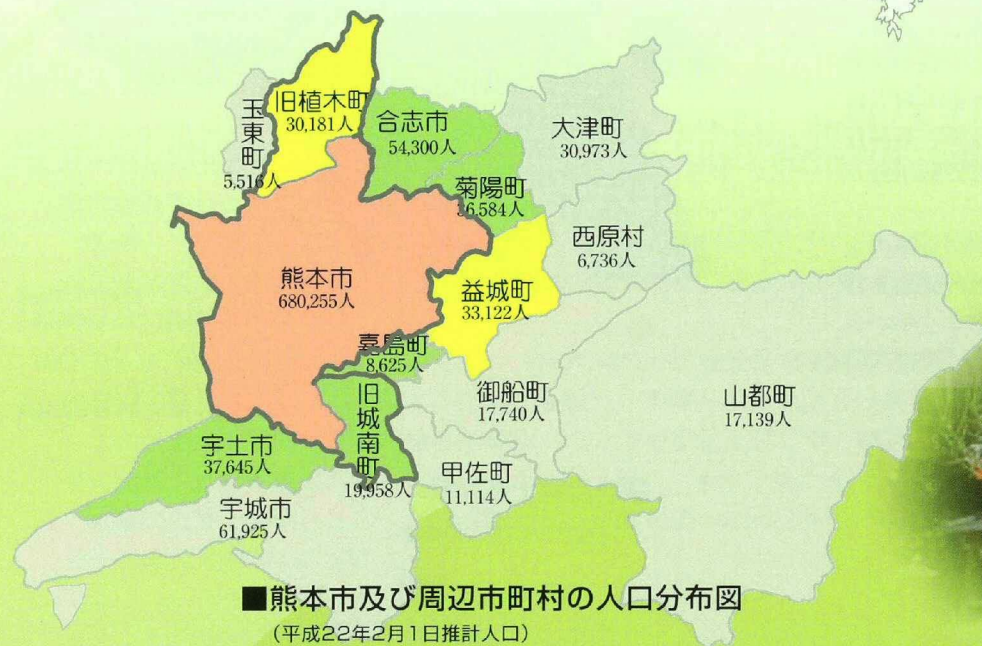


(過去5年間気温比較)





人 口
Kumamoto City



小野泉水公園(旧植木町)

熊本市及び周辺市町村人口

熊本市及び周辺12市町村の人口は、平成22年2月1日現在1,051,813人(推計人口)で、熊本県総人口の57.9%を占めています。

※熊本市は平成22年3月23日に植木町、城南町と合併しました。新市域の推計人口等について、詳しくは下記HPアドレスでご覧いただけます。

熊本市の人口推移 — 鈍化する人口増加 —

明治22年、市制施行当時42,725人(明治22年12月31日現在)であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、昭和52年には50万人を超え、さらに平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し627,568人となり、全国順位は15位になりました。

しかし、昭和30年国勢調査以降、5年毎に4万人前後で増加していた熊本市の人口も、平成7年以降は、伸びが鈍化してきています。

平成17年国勢調査では、熊本市の人口は669,603人、全国順位は20位となりました。これを地域分布でみると、東部207,569人、北部129,654人、南部117,470人、西部72,644人、中央部142,266人となっており、前回平成12年国勢調査に比べ、中央部・東部・北部・南部は人口が増加したものの、西部の人口は減少しています。

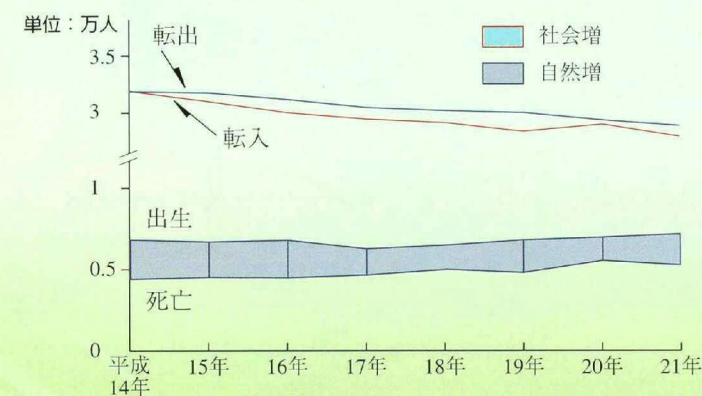
その後、平成20年10月6日に富合町と、平成22年3月23日には植木町、城南町と合併し、新「熊本市」は人口約73万の都市になりました。

※「推計人口」とは

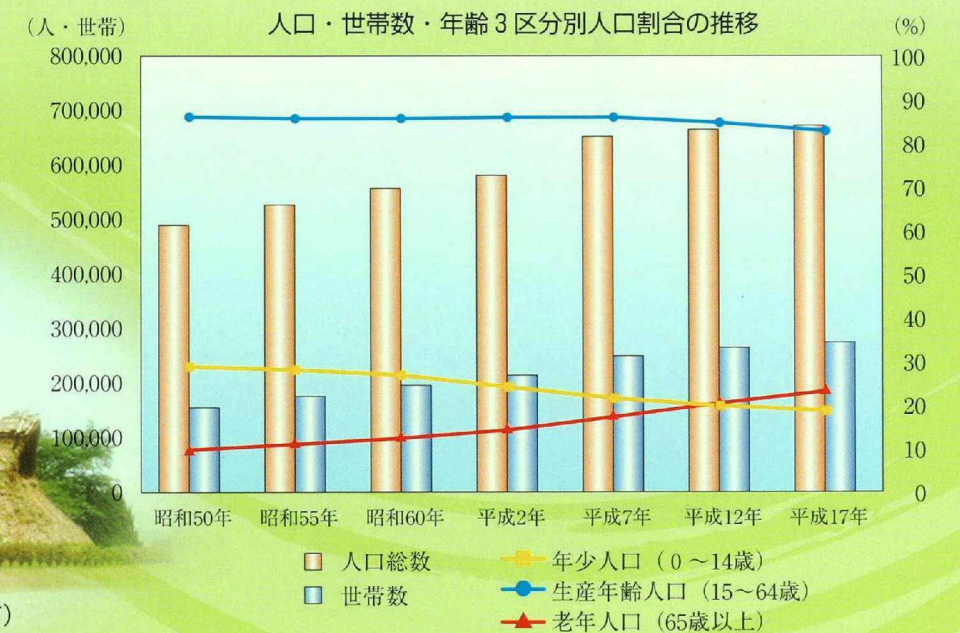
国勢調査確定値を基に毎月の転入・転出及び出生・死亡を増減したものです。
過去データや人口について詳しくは熊本市ホームページ内「統計で見る熊本市」をご覧ください。
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/toukei/top/index.htm>

■人口動態の推移

資料：市統計課



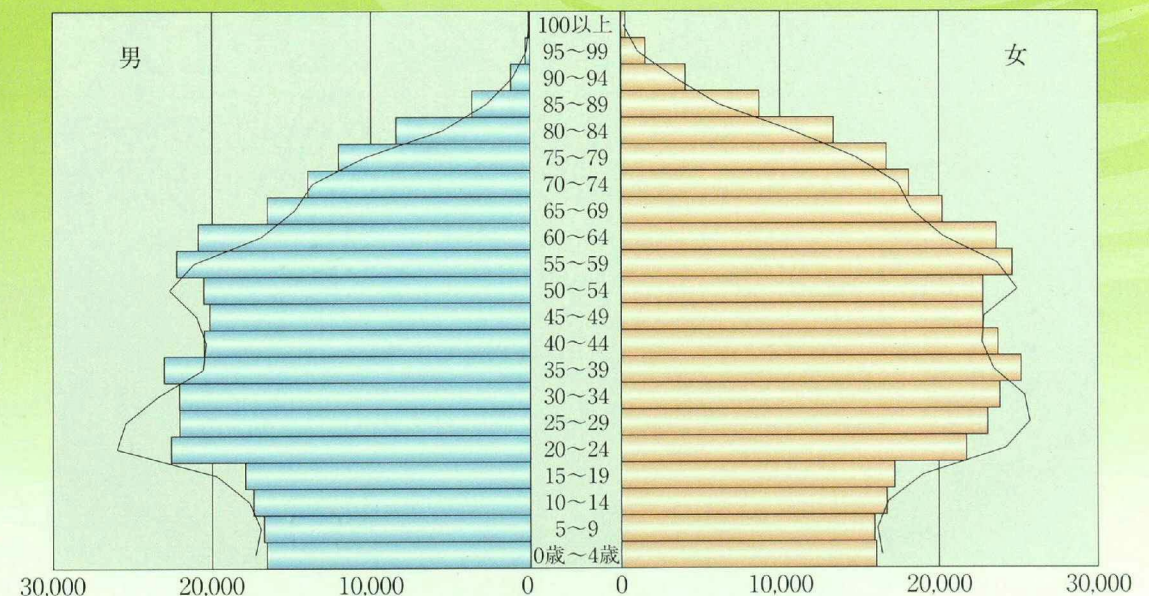
■人口・世帯数の推移(国勢調査)



塚原古墳公園(旧城南町)

■人口ピラミッド(平成21年10月1日現在推計人口)

— は平成16年10月1日



熊本市第6次総合計画

総合計画とは、本市の目指す将来像を描くとともに、その実現のためのまちづくりの方向、基本方針、主な施策などを定めた長期的なまちづくりの計画です。この計画を市民の皆さんと行政の共通・共有するまちづくりの指針とし、総合的・計画的な市政運営に努め、市民協働の新しい熊本づくりを進めていきます。

◆めざすまちの姿◆

『湧々都市くまもと』

～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

1 『くらし わくわく』プロジェクト

私たちは、すべての人がいきいきと暮らし、将来の夢と希望を描けるまちをつくります。

次の時代を担う子どもたちは、まちの宝です。子どもたちの笑顔がまちを輝かせます。

子どもたちがいきいきと育ち、若者や女性、高齢者、障がいのある人なども、だれもが能力を発揮し、夢と希望を描きながら生涯にわたって「くまもと」に暮らし、その夢を実現できるまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく1】子どもも大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

【夢わく2】だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

2 『めぐみ わくわく』プロジェクト

私たちは、先人から受け継いだ豊かな恵みをはぐくみ、次の世代に引き継ぐまちをつくります。

「くまもと」は、歴史・文化と自然の宝庫です。

この恵まれた環境と素材にさらに磨きをかけ、世界に誇れる質の高いまちをつくりあげるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく3】ふるさと自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

【夢わく4】伝統と文化が息づき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる



まちづくりの重点的取り組み

めざすまちの姿の実現に向け、目標年次となる平成30年度までに、特に重点的に取り組む4つのプロジェクトとそれを具体化する7つの夢わくプラン（「夢わく」）を進めます。

3 『おでかけ わくわく』プロジェクト

私たちは、だれもが気軽におでかけできるまちをつくります。

おでかけが楽しいまちは、人の元気とまちの元気があふれるまちです。

日常のおでかけ、休日のおでかけ、遠くへのおでかけが楽しく、便利なまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

【夢わく5】だれもおでかけしたくなるまちをつくる

【夢わく6】バス・電車、自転車などで気軽におでかけできるまちをつくる

4 『出会い わくわく』プロジェクト

私たちは、おもてなしの心で様々な出会いが生まれるまちをつくります。

「くまもと」は、九州の真ん中! 九州の元気を繋ぐまちです。

内外の多くの人々が「くまもと」を訪れ、楽しい豊かな時間を過ごしていただける「おもてなしのまち」をつくるため、次の「夢わく」を推進します。

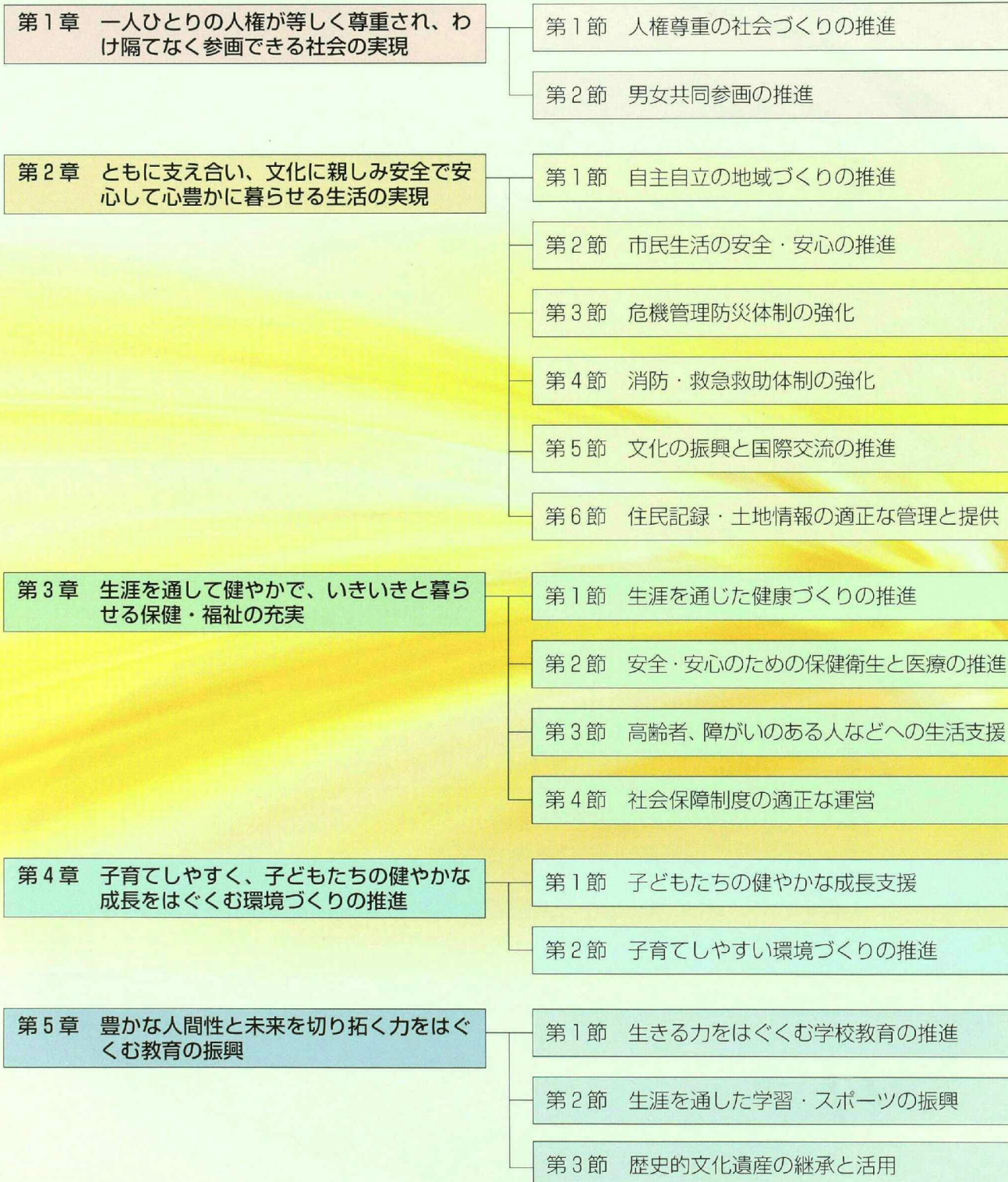
【夢わく7】温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる



分野別及び基本計画の 推進に向けた施策について

総合計画に基づき、次の体系に沿って施策を推進します。

分野別施策



第6章 水と緑の良好な環境の保全と循環型社会の構築

- 第1節 環境保全活動の推進と良好な環境の保全
- 第2節 水と緑に囲まれた良好な環境の形成
- 第3節 資源循環型社会の構築

第7章 地域の活力をつくりだす産業・経済の振興

- 第1節 商工業の振興
- 第2節 観光・コンベンションの振興
- 第3節 農水産業の振興

第8章 安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実

- 第1節 計画的な都市づくり
- 第2節 魅力と活力のある中心市街地の創造
- 第3節 利便性の高い公共交通体系の確立
- 第4節 良好な道路の整備・保全
- 第5節 総合的な治水対策の推進
- 第6節 安全で良好な建築物の整備・推進
- 第7節 良質な水道水の安定供給
- 第8節 着実な污水处理施設の整備

基本計画の推進に向けて

基本計画の推進に向けて

- 1 協働と自主自立によるまちづくり
- 2 信頼される市政運営
- 3 効率的で質の高い行政運営
- 4 市域を越えた広域的連携

第6次総合計画の詳細については、熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>) をご覧ください。



安全・安心

Kumamoto City

■原因別火災件数及び被害状況

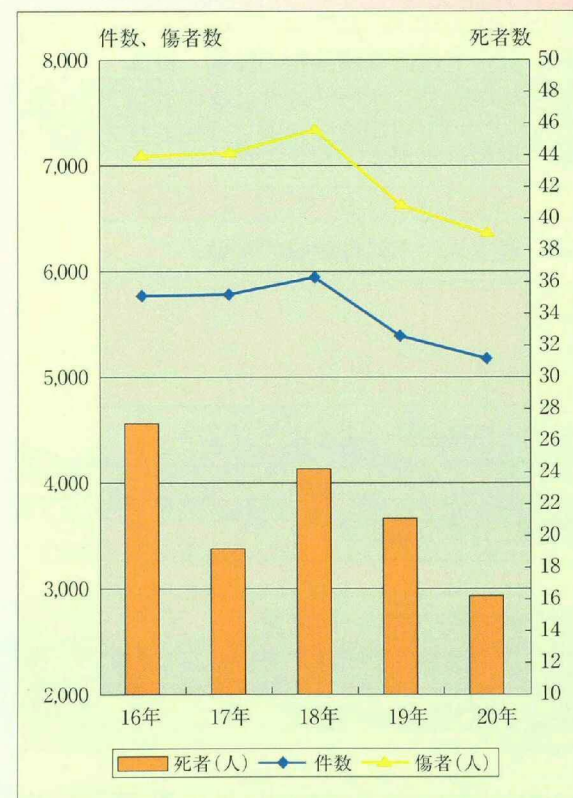
最多原因件数

単位：千円

原因	年次	平成16年		17 年		18 年		19 年		20 年	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ		20	4 293	22	32 955	23	56 622	24	23 267	16	2 012
たき火		9	197	11	414	8	8 137	13	3 031	4	3
火遊び		3	345	16	3 533	7	7 732	11	88	7	1 874
こんろ	こんろ	14	16 444	9	22 384	7	707	7	22	11	492
	天ぷら油	31	19 465	22	587	24	4 952	43	11 160	20	25 577
放火（疑念）		48	23 883	43	20 024	52	22 615	36	8 527	35	22 796
風呂かまど		1	1	—	—	2	22	—	—	1	145
ストーブ		9	41 377	9	18 754	5	36 529	6	25 274	5	3 403
マッチ・ライター		3	15	4	36	8	4 124	5	83	8	3 124
配線器具		4	74 485	1	476	1	3 799	8	22 970	7	12 852
電灯電話配線		8	28 783	5	3 711	7	10 356	15	47 522	9	34 029
電気機器		6	1 296	2	1 518	4	28	3	2 087	4	4 633
不明		10	27 838	14	29 842	7	4 474	9	20 535	7	9 745
その他		53	80 166	42	14 113	47	17 905	28	35 914	49	62 283
合計		219	318 588	200	148 347	202	178 002	208	200 480	183	182 968

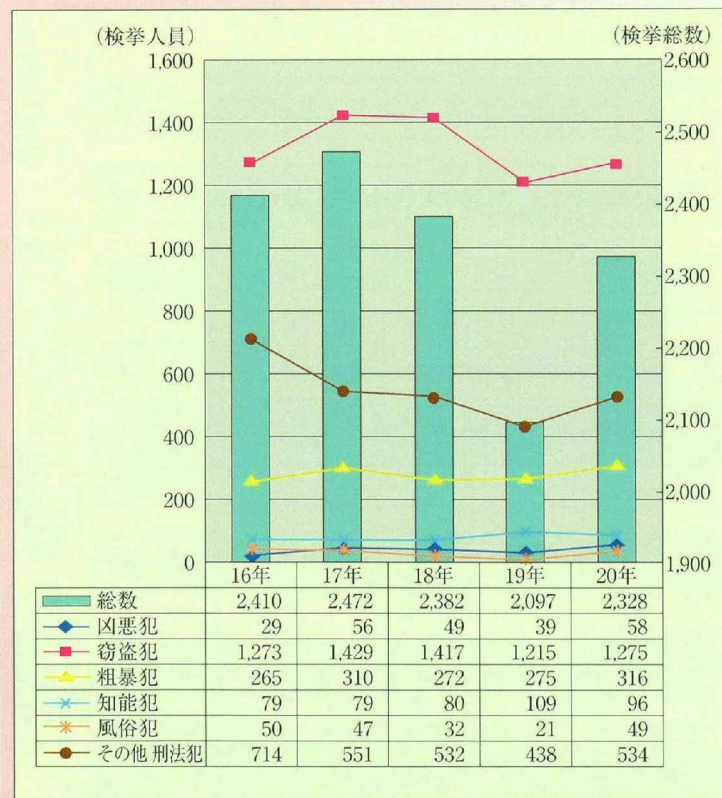
資料 市消防局

■交通事故の状況（管内）



本表は、熊本北署、南署、東署管内の合計である。

■刑法犯罪認知、検挙件数及び検挙人員



※検挙件数及び人員は、熊本北署・熊本南署・熊本東署が検挙した件数、人員である。



保健・福祉

Kumamoto City

■医療施設

各年10月1日現在

年次	病 院									
	施 設 数				病 床 数					
	総数	精神病院	一般病院	療養病床を有する病院（再掲）	総数	精神	感染症	結核	一般	療養病床（再掲）
16年度	91	15	75	40	14,555	2,785	12	32	7,255	4,471
17年度	90	15	75	39	14,545	2,785	12	32	7,400	4,316
18年度	89	15	74	38	14,493	2,785	12	32	7,664	4,000
19年度	87	15	72	37	14,363	2,785	12	32	7,874	3,660
20年度	86	15	71	35	14,318	2,785	12	32	7,921	3,568

年次	一 般 診 療 所						歯 科 診 療 所			
	施 設 数				病床数	療養病床（再掲）	施 設 数			病床数
	総数	有床	無床	療養病床を有する診療所（再掲）			総数	有床	無床	
16年度	574	171	403	42	2,681	437	343	2	341	20
17年度	585	158	435	39	2,462	411	345	2	343	20
18年度	583	147	436	26	2,301	303	356	2	354	20
19年度	587	145	442	26	2,299	283	355	2	353	20
20年度	579	141	438	24	2,245	256	356	2	354	25

※ 「感染症病床」は、「感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が平成11年4月から施行され「伝染病床」から改められた。
 ※ 一般病床には、旧その他の病床（旧療養型病床群を除く）を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。
 ※ 休止中を除く。

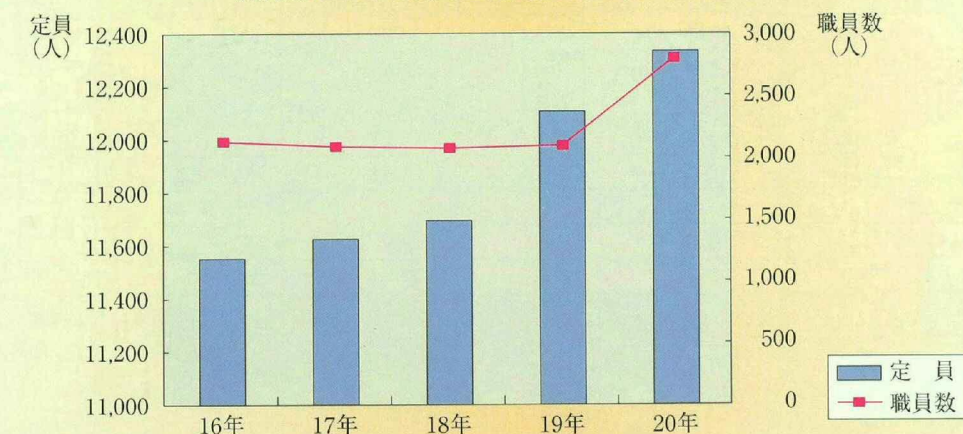
■保育所の状況

各年4月1日現在

年次	保育所数	職員数	定 員	年 齢 別 入 所 者 数						
				総数	5 歳	4 歳	3 歳	2 歳	1 歳	0 歳
16 年	128	2,112	11,550	12,580	2,667	2,649	2,568	2,227	1,807	662
17 年	128	2,076	11,620	12,510	2,698	2,686	2,501	2,196	1,744	685
18 年	128	2,064	11,690	12,425	2,767	2,567	2,482	2,112	1,842	655
19 年	131	2,095	12,100	12,704	2,728	2,694	2,438	2,265	1,837	741
20 年	132	2,737	12,330	12,825	2,794	2,601	2,536	2,203	1,969	722
（再掲）										
市 立	19	414	1,675	1,588	361	344	319	255	235	74
私 立	113	2,323	10,655	10,977	2,433	2,257	2,217	1,948	1,734	648

※数字に広域入所委託は含まれない。
 資料 市保育幼稚園課

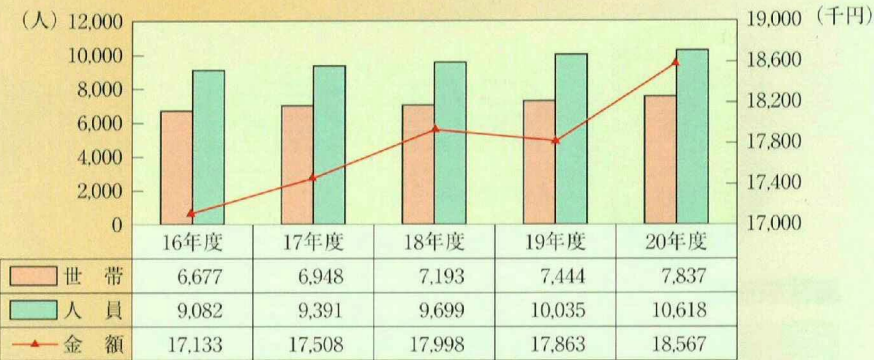
保育所における定員と職員数の推移



生活保護状況

世帯及び人員は月平均を示す。

年次	被保護実数		
	世帯	人員	金額(千円)
16年度	6,677	9,082	17,133,205
17年度	6,948	9,391	17,508,246
18年度	7,193	9,699	17,998,167
19年度	7,444	10,035	17,863,460
20年度	7,837	10,618	18,567,352



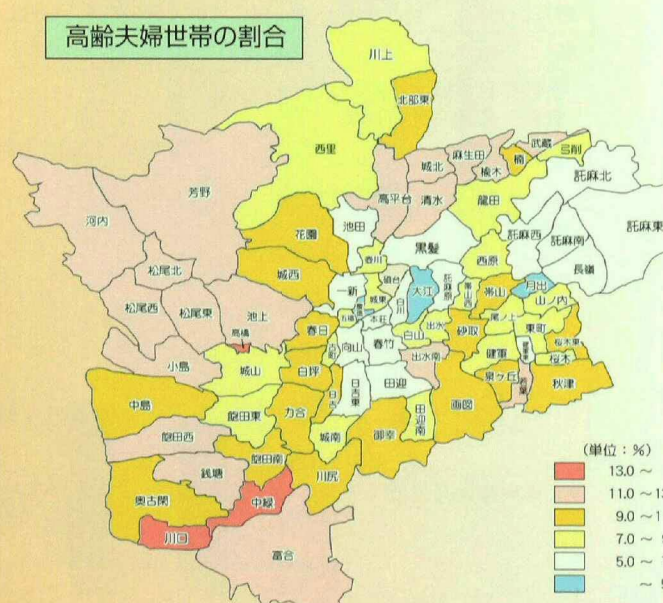
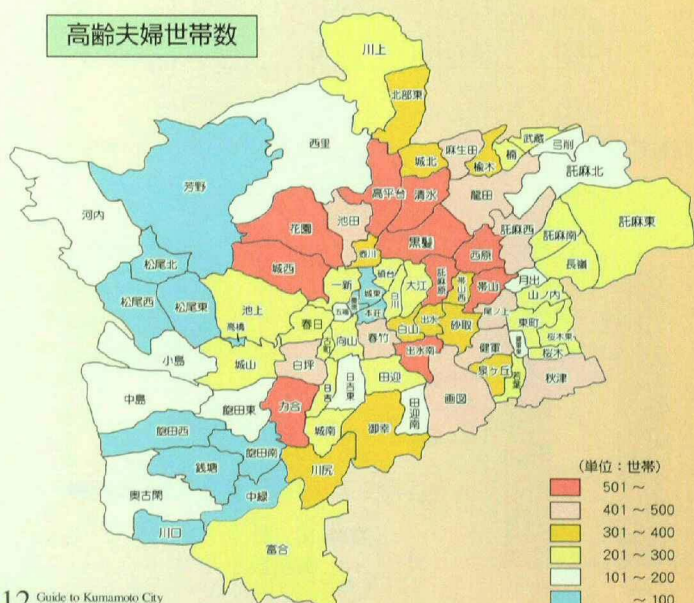
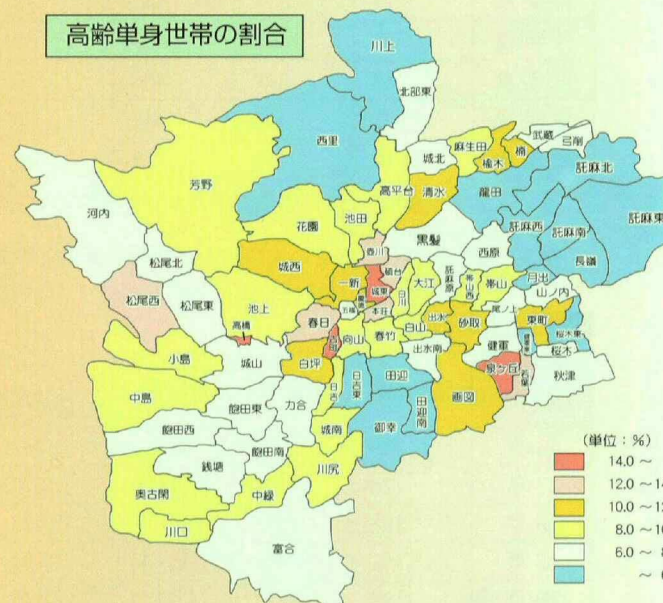
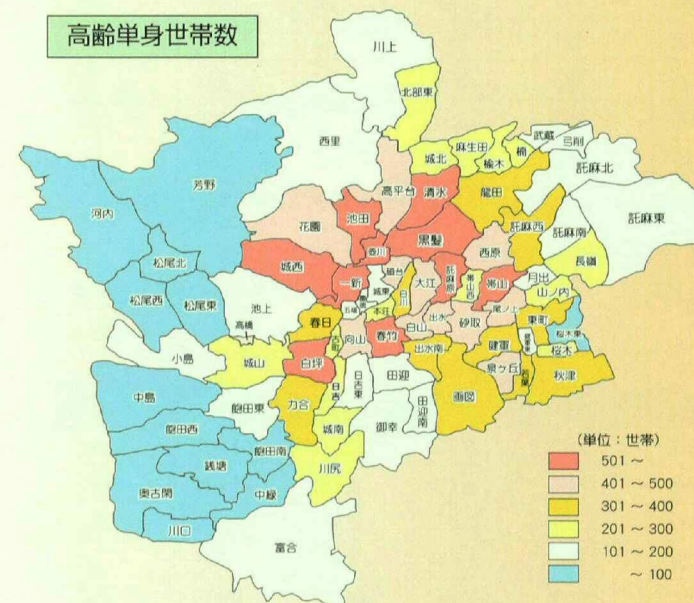
高齢者福祉

年度	高齢者数	施設措置 人員	老人クラブ会員数	老人福祉センター利用 者数(1日平均)	老人憩いの家数
16年度	120,372	368	28,856	614	135
17年度	123,378	365	27,972	539	135
18年度	126,958	365	28,080	539	135
19年度	129,603	350	27,295	484	135
20年度	135,107	364	27,822	551	136

単位：人・所
資料 市高齢介護福祉課

地図でみる校区別高齢単身・高齢夫婦世帯 (平成17年国勢調査結果) 旧富合町分を含む

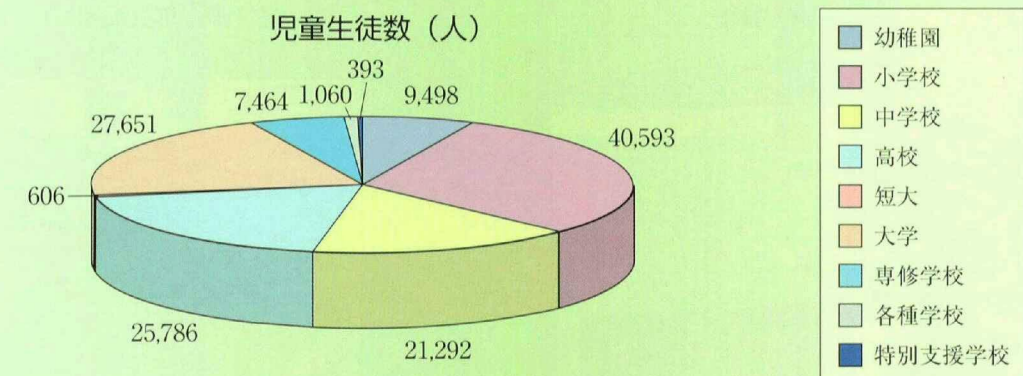
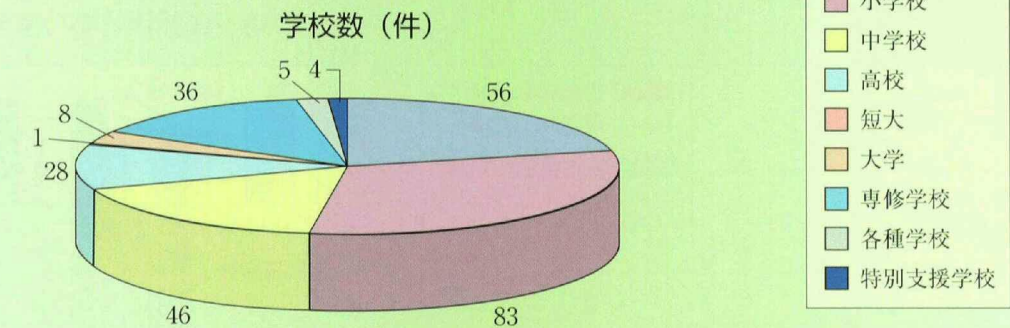
※施設等の世帯を除く。
※ここで掲載する校区別集計の校区とは、本市教育委員会が設置する
小学区域とは必ずしも一致しません。



教育

Kumamoto City

学校(園)数及び児童生徒(園児)数(平成21.5.1現在)



中学・高校生の卒業後の状況

年次	卒業者数	A. 進学者数 (含・就職進学者)	B. 教育訓練 (機関等入学者)	C. 就職者数 (A・B除く)	D. 一時的な仕 事に就いた者	A, Bのうち就 職している者	E. 左記以外 の者	F. その他 (死亡・不詳)
17年	7,214	7,099	31	30	—	50	4	17
18年	6,956	6,836	28	23	—	64	5	11
19年	7,186	7,052	35	24	—	63	12	7
20年	7,088	6,980	33	22	—	51	2	6
21年	7,066	6,963	23	17	—	60	3	5
(再掲)								
男	3,566	3,508	16	14	—	27	1	5
女	3,500	3,455	7	3	—	33	2	—

年次	卒業者数	A. 進学者数 (含・就職進学者)	B. 教育訓練 (機関等入学者)	C. 就職者数 (A・B除く)	D. 一時的な仕 事に就いた者	A, Bのうち就 職している者	E. 左記以外 の者	F. その他 (死亡・不詳)
17年	9,146	4,239	2,874	1,475	118	439	1	20
18年	9,000	4,278	2,624	1,542	129	409	18	35
19年	8,935	4,294	2,598	1,555	92	383	13	30
20年	8,036	4,181	2,133	1,439	74	209	—	17
21年	7,916	4,197	2,061	1,281	99	277	1	11
(再掲)								
男	3,903	2,045	956	743	28	131	—	3
女	4,013	2,152	1,105	538	71	146	1	8

※Bの教育訓練は、専修学校(高等課程・一般過程)と、公共職業能力開発施設等の入学者。

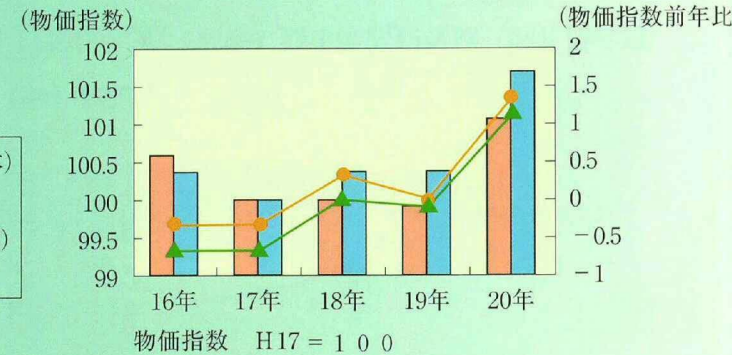
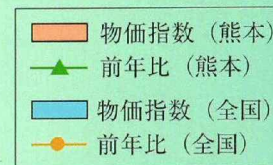
資料 県統計調査課



生活環境

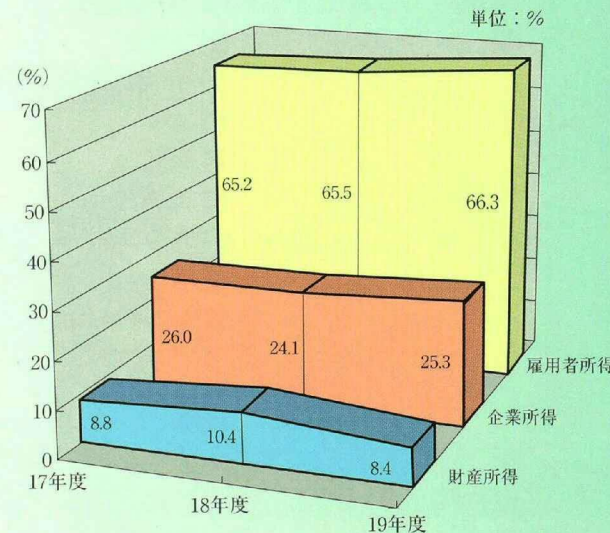
Kumamoto City

■消費者物価指数の推移



■市民所得の推計 (国、県、熊本市) 平成19年度市民所得推計より

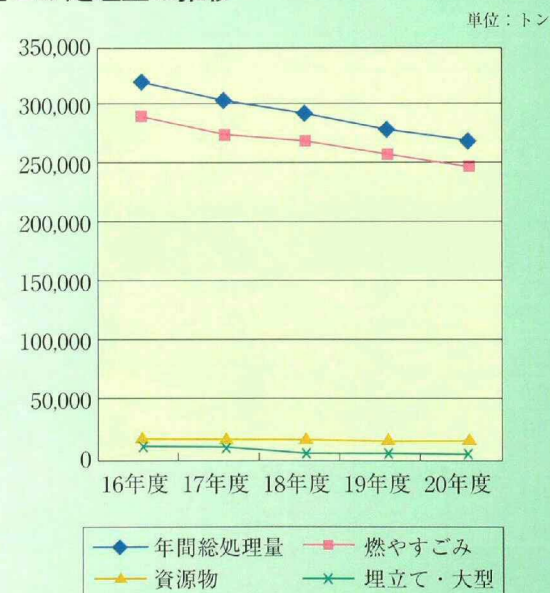
分配率の推移



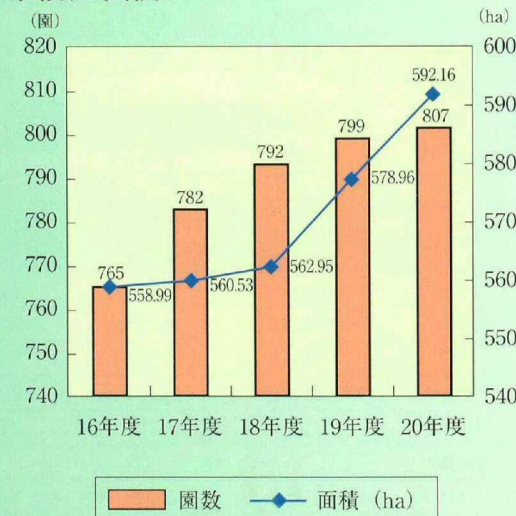
国・県・市民所得推移



■ごみ処理量の推移



■公園数と面積



※まちの広場は総数に含まない。
資料 市公園課

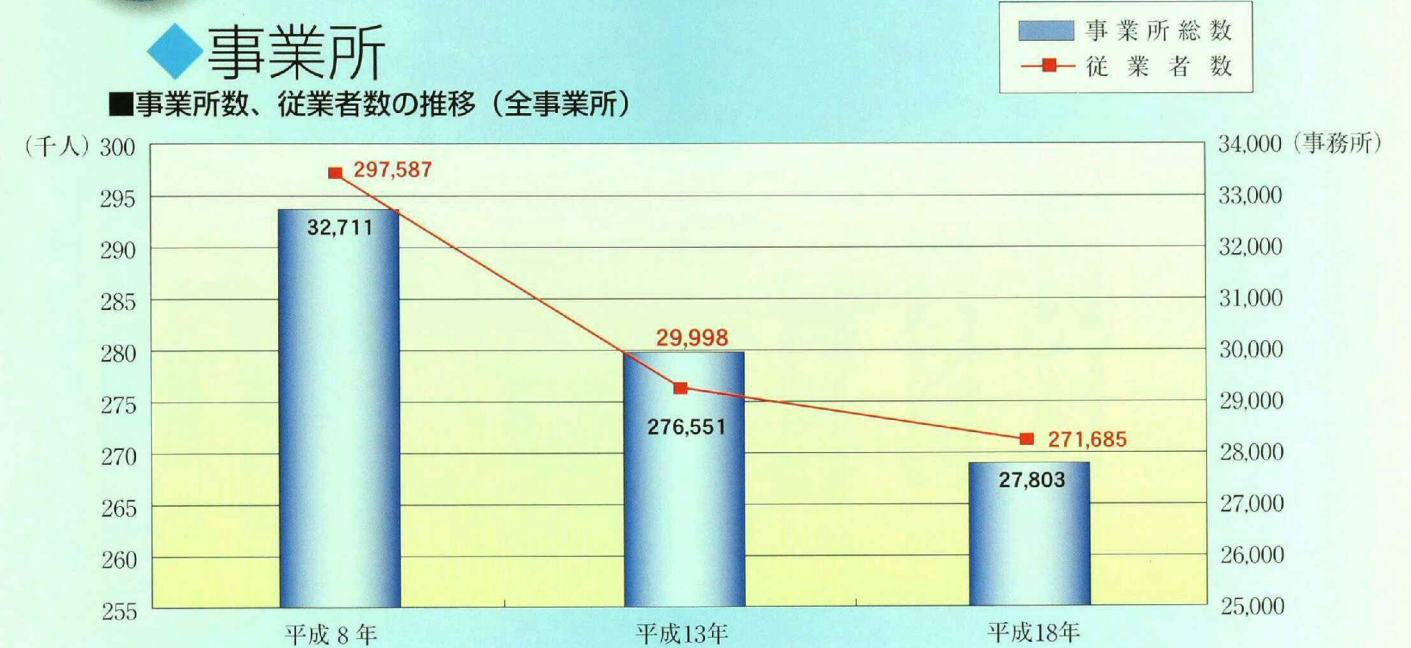


産業・経済・観光

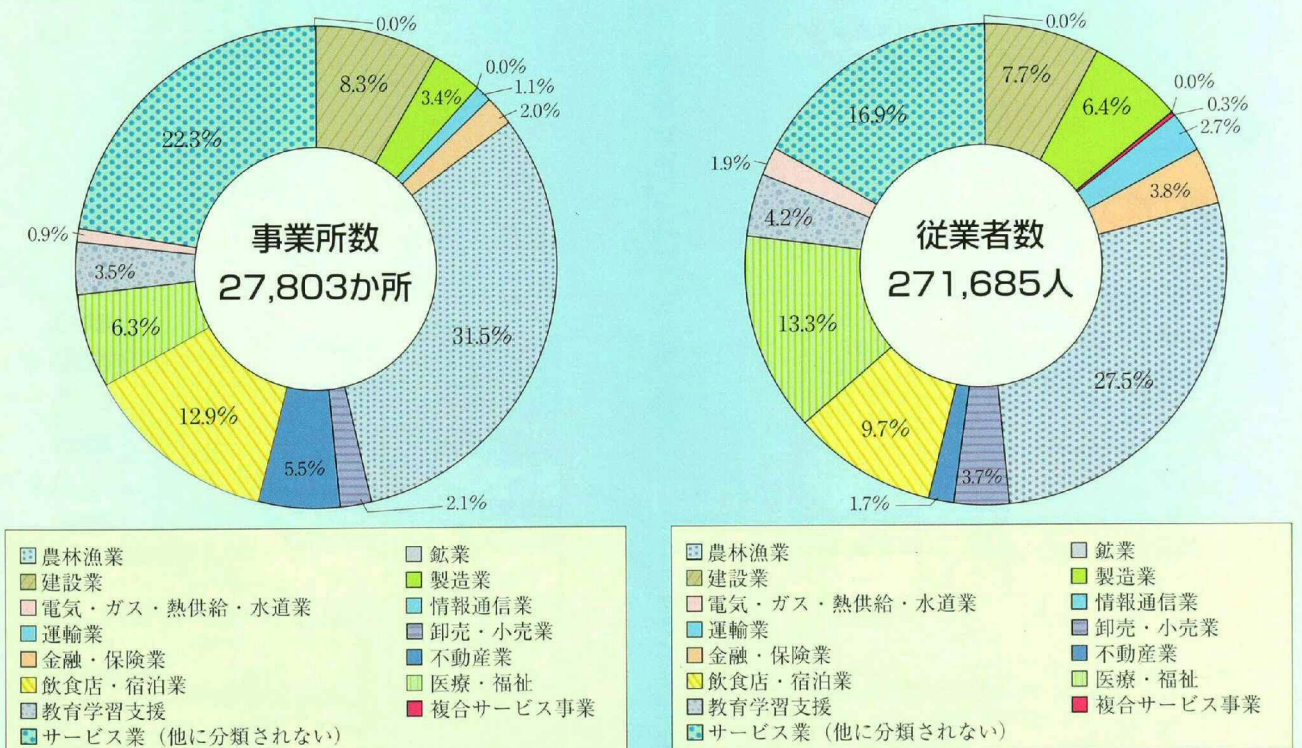
Kumamoto City

◆事業所

■事業所数、従業者数の推移 (全事業所)



■平成18年産業別構成 (民営)



熊本市の民営事業所は27,803事業所で、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービスを除くほとんどの事業所が減少となり、前回の29,998事業所から2,195事業所減少し(対前回増減率△7.3%)となっている。

産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で構成比が31.0%、続いてサービス業22.2%となっており、この二つの産業で全産業の53.2%を占め、以下飲食店・宿泊業、建設業、医療・福祉、不動産業と続いている。

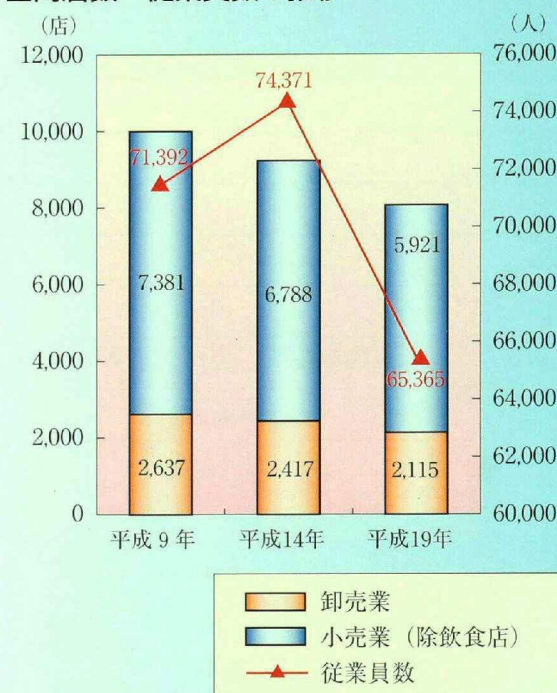
民営事業所の従業者数は、271,685人で4,866人減少し、対前回増減率△1.8%となっている。

産業別に見てみると、最も多いのは卸売・小売業で74,787人(構成比24.9%)、続いてサービス業の48,058人(同16.0%)となっている。以下は、医療・福祉、飲食店・宿泊業、建設業、教育・学習支援業の順となっている。

◆ 商 業

商店数 8,036店 (対前回増減率△12.7%)
 従業者数 65,365人 (対前回増減率△12.1%)
 年間商品販売額 2兆2,743億2,273万円 (対前回増減率△10.8%)

■商店数・従業員数の推移

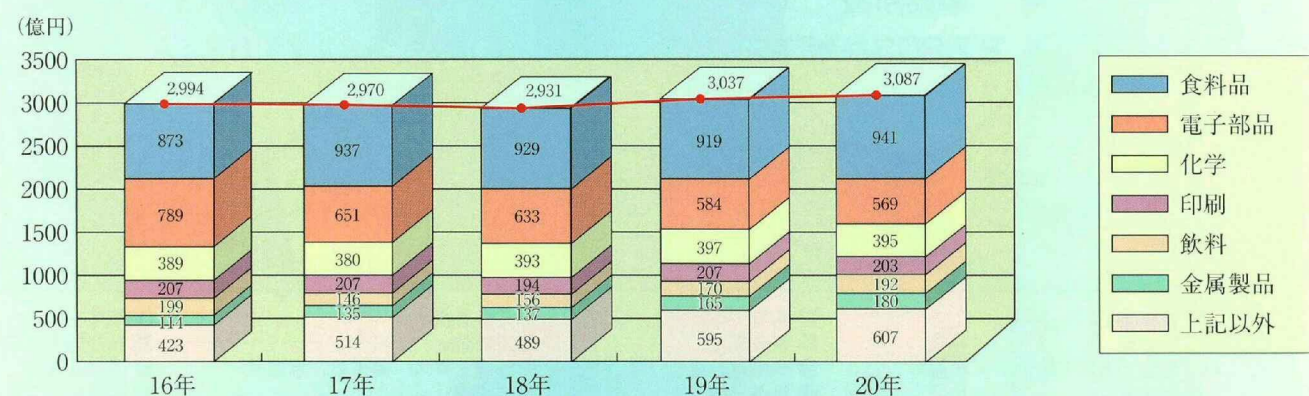


■年間商品販売額の推移

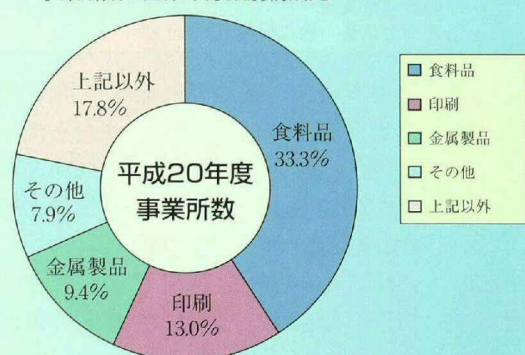


◆ 工 業

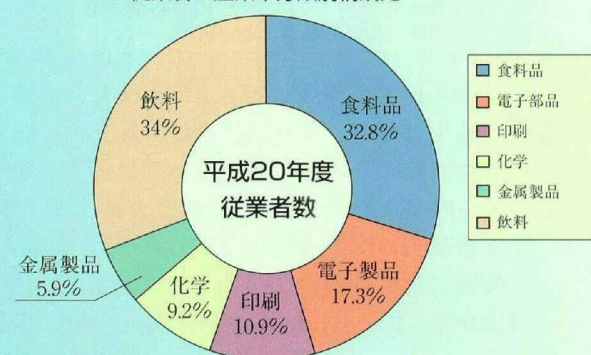
■工業 (従業者数4人以上)



事業所数の産業中分類別構成比



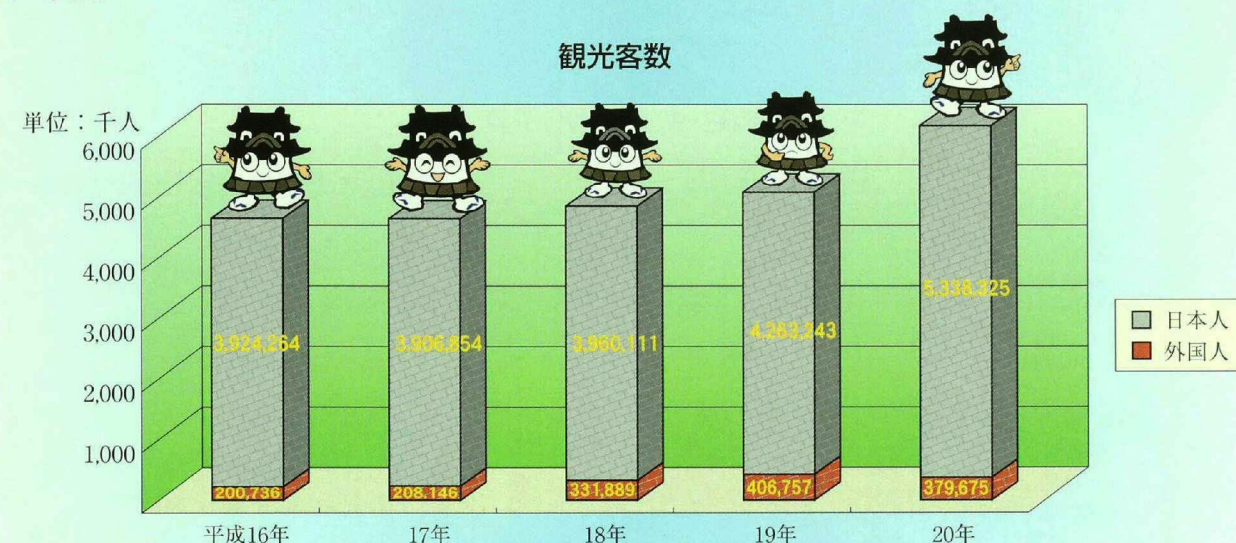
従業者の産業中分類別構成比



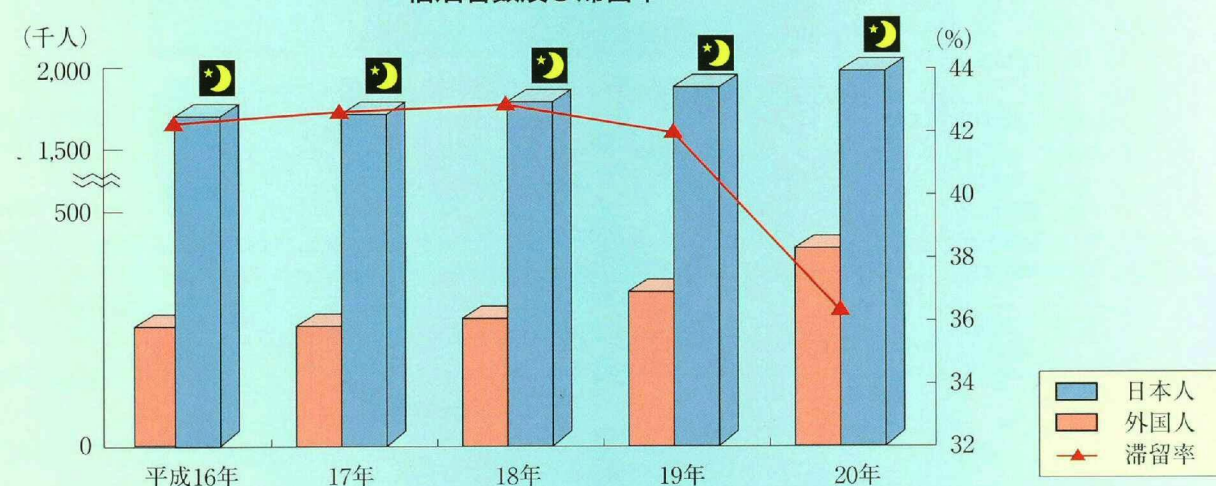
※20年調査で産業分類の改定により、一部比較できない分類 (例えば「繊維」) があるため「上記以外」に含めている。

◆ 観 光

観光客数



宿泊者数及び滞留率



■主要観光施設

名 称	所在地	名 称	所在地	名 称	所在地	名 称	所在地
熊本城	本丸	監物台樹木園	二の丸	伝統工芸館	千葉城町	水の科学館	八景水谷
旧細川刑部邸	古京町	徳富記念園	大江	神風連資料館	黒髪	五高記念館	黒髪
水前寺成趣園	水前寺公園	県立美術館 (本館)	二の丸	小泉八雲 熊本旧居	安政町	フードパルクもと	貢町
動植物園	健軍	県立美術館 (分館)	千葉城	峠の茶屋公園	河内町岳	武蔵塚公園	龍田弓削
立田自然公園	黒髪	熊本洋学校教師 ジェーンズ邸	水前寺公園	くまもと工芸会館	川尻	金峰森の駅 みちくさ館	河内町岳
北岡自然公園	横手	夏目漱石内坪井旧居	内坪井町	御馬下の角小屋	四方寄町	熊本市現代美術館	上通町
熊本博物館	古京町	島田美術館	島崎	リデル、ライト 両女史記念館	黒髪		
熊本国際市民館	龍田	雲巖禅寺・五百羅漢・霊巖洞	松尾町平山	後藤是山記念館	水前寺		
本妙寺 (宝物館)	花園	横井小楠記念館	沼山津	近代文学館	出水		

資料: 市観光政策課

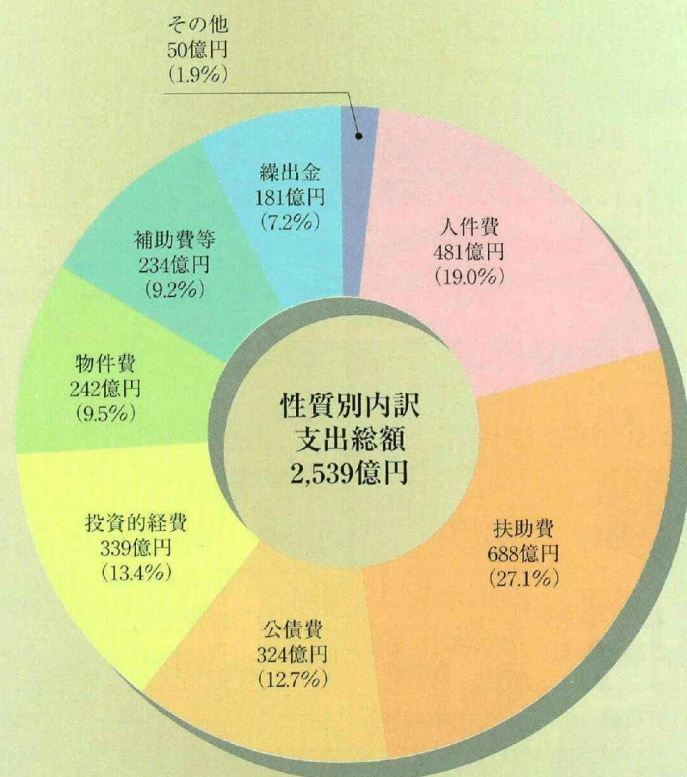
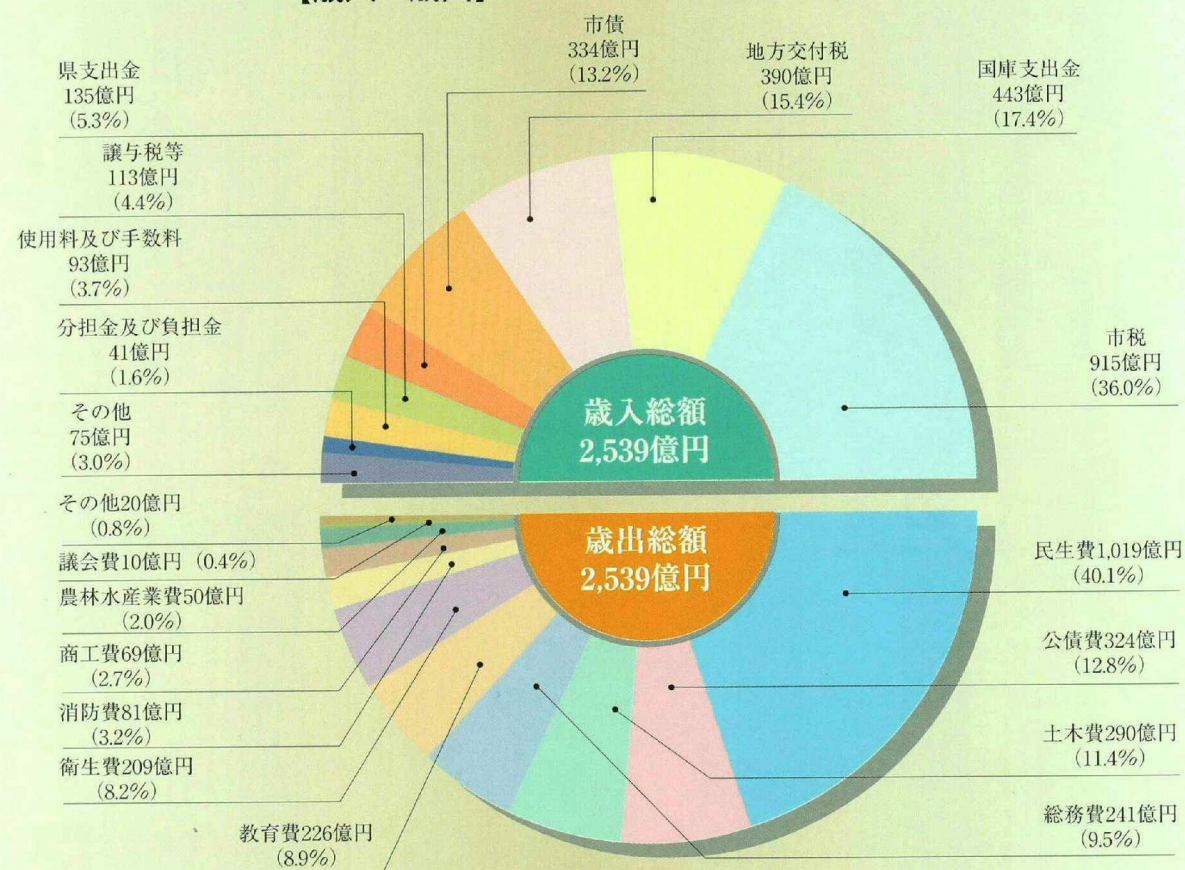


財政

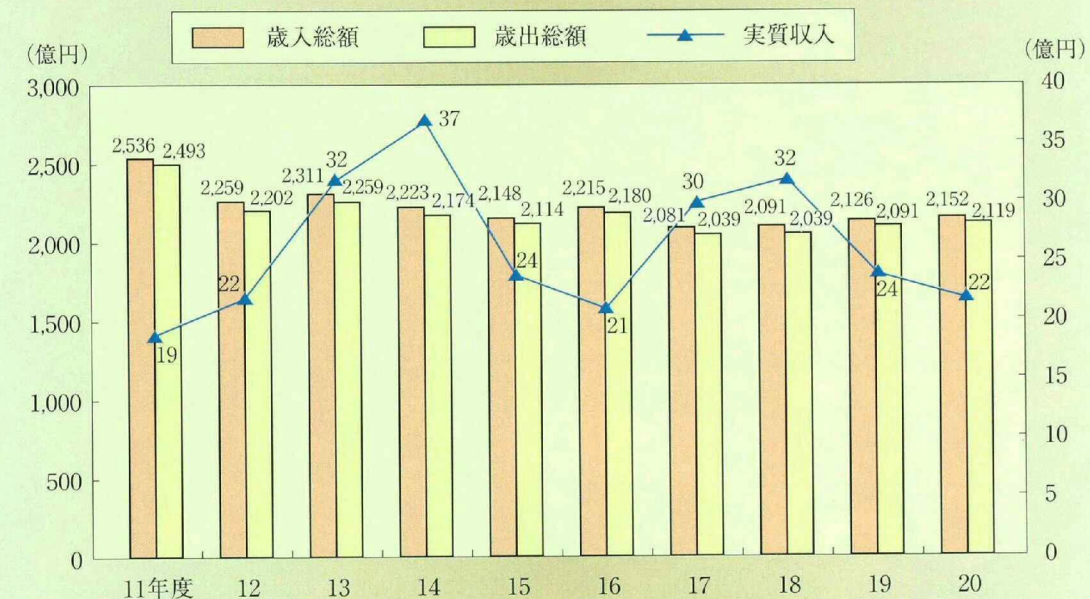
Kumamoto City

平成22年度一般会計当初予算

【歳入・歳出】



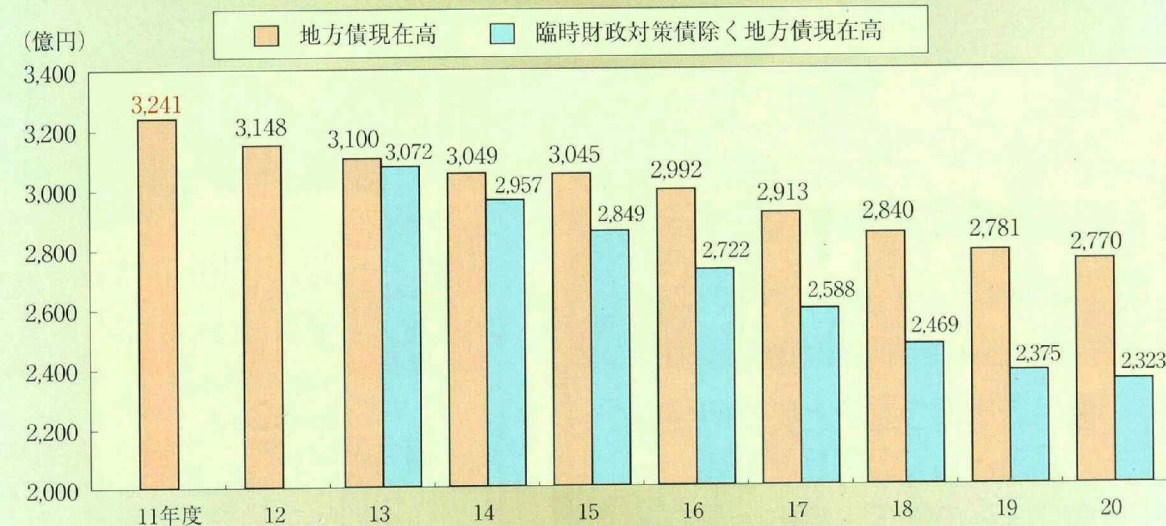
■一般会計歳入・歳出決算額の推移



実質収支は、地方公共団体の財政運営が良好かどうか判断する重要な指標の一つですが、ここ数年は20～30億円の黒字決算を続けています。

※ 実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

■普通会計市債現在高の推移



財政の中期見通しの策定などによる計画的な財政運営により、市債残高は減少を続けています。

政令指定都市をめざして

kumamoto city

現在、本市では平成24年4月1日の政令指定都市移行をめざし、様々な取り組みを行っています。

政令指定都市では権限や財源が拡充すると共に、区役所が設置され、より身近なサービスの提供や地域にあったまちづくりを進めることができます。

また、都市イメージアップによって地域経済の活性化が期待されます。

そこで本市は、めざす政令指定都市の姿を「九州ど真ん中！日本一暮らしやすい政令市 くまもと ～水と緑と歴史が息づき 未来へ挑戦する交流拠点都市～」とし、その実現に向けて取り組んでいます。

★めざす政令指定都市の姿

九州ど真ん中！日本一暮らしやすい政令市 くまもと
～水と緑と歴史が息づき 未来へ挑戦する交流拠点都市～

重点戦略 5つの誇りと挑戦

熊本市の固有の資源を生かした ★誇りと挑戦★

- 名城を持つ歴史と文化の息づく都市としての誇りと挑戦
- 日本一の地下水都市・森の都としての誇りと挑戦
- 食の恵みを満喫できる都市としての誇りと挑戦

熊本市の都市の特性を生かした ★誇りと挑戦★

- 九州中央の交流拠点都市としての誇りと挑戦
- だれもが安心して暮らせる政令指定都市としての誇りと挑戦

行政

kumamoto city

幸山政史市長
Mayor Seishi Kohyama



西島喜義副市長
Deputy Mayor Kiyoshi Nishijima



寺崎秀俊副市長
Deputy Mayor Hidetoshi Terasaki



Kumamoto City

歴代市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉村大八	明治 22. 5. 6	明治 26. 7. 9	第12代	石坂繁	昭和 20.10. 4	昭和 21. 3.11
2	松崎為己	" 26. 9.15	" 30. 8. 2	13-14	福田虎亀	" 21. 6.14	" 23. 2. 9
3	辛島格	" 30. 9.13	大正 2. 1.20	15	佐藤真佐男	" 23. 4. 7	" 27. 3. 7
4	山田珠一	大正 2. 4. 2	" 3.10.10	16	林田正治	" 27. 3.20	" 31. 2.23
5	依田昌兮	" 4. 1.14	" 6. 9. 3	17-18	坂口主税	" 31. 3.16	" 38. 1. 4
6	佐柳藤太	" 6.11.20	" 10.11.19	19-20	石坂繁	" 38. 2.15	" 45.11.26
7	高橋守雄	" 11. 1.19	" 14. 7.13	21-24	星子敏雄	" 45.12.20	" 61.12. 6
8	辛島知己	" 14. 9.14	昭和 4. 7. 4	25-26	田尻靖幹	" 61.12. 7	平成 6.12. 6
9	山田珠一	昭和 5. 2. 5	" 9. 4.17	27-28	三角保之	平成 6.12. 7	" 14.12. 2
10	山隈康起	" 9. 5.14	" 17. 5.13	現市長	幸山政史	" 14.12. 3	在任中
11	平野龍起	" 17. 6.25	" 20. 8.10				



市議会

Kumamoto City



坂田誠二議長



田中誠一副議長

市議会は、市民から選ばれた議員49名で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団(17名)、くもと未来(10名)、社民・民主・人(ヒューマン)市民連合(10名)、公明党熊本市議団(7名)、日本共産党熊本市議団(3名)、日本の教育を考える会(1名)、自由クラブ(1名)の7会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育市民・保健福祉・環境水道・経済・都市整備の6委員会に加え、予算・決算議案および関連議案を審査する予算決算委員会を新設し、所管部門の事務を調査し、議案などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、政令指定都市実現に関する特別委員会・出資団体等の調査に関する特別委員会・中心市街地の活性化に関する特別委員会の各特別委員会があります。

■歴代市議会議長

代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	有馬源内	明治 22. 4.26	明治 24. 1.21	18	寸坂幸夫	昭和 36. 3.24	昭和 38. 4.30	35	村上春生	昭和 63.12.16	平成 2. 3.26
2	興津景親	" 24. 1.22	" 28. 5.13	19	阿部次郎	" 38. 5.18	" 40. 3.18	36	矢野昭三	平成 2. 3.26	" 3. 4.30
3	河原惟一	" 28. 5.14	" 31. 5.22	20	井上常八	" 40. 3.18	" 40.12. 7	37	嶋幾雄	" 3. 5.17	" 5.12. 5
4	吉永為己	" 31. 5.23	" 36. 2. 5	21	石井辰雄	" 41. 7. 4	" 42. 4.30	38	中村徳生	" 5.12. 3	" 7. 4.30
5	山田珠一	" 36. 2. 6	" 37. 4.30	22	阿部次郎	" 42. 5.20	" 43. 7. 3	39	荒木哲美	" 7. 5.19	" 9. 3.27
6	山田永為	" 37. 5.27	大正 2. 4.30	23	坂梨日露	" 43. 7.13	" 45.12. 4	40	主海偉佐雄	" 9. 3.27	" 11. 4.30
7	山林千	" 2. 2.10	" 6. 4.30	24	黒田弥一郎	" 45.12. 4	" 46. 4.30	41	江藤正行	" 11. 5.21	" 13. 6. 8
8	山隈	" 6. 5.15	" 10. 9.30	25	落清水清	" 46. 5.20	" 48. 6. 6	42	白石正	" 13. 6. 8	" 14. 6.18
9	迫源次郎	" 10.10.14	" 14. 9.30	26	古川国雄	" 48. 6. 6	" 50. 4.30	43	宮原政一	" 14. 6.18	" 15. 4.30
10	山隈康	" 14.10.12	昭和 9. 5. 7	27	紫垣正良	" 50. 5.16	" 52. 6. 4	44	落清水弘	" 15. 5.23	" 16. 9. 7
11	平野龍起	昭和 9. 5. 8	" 17. 6.14	28	上田堅太	" 52. 6. 4	" 54. 4.30	45	古川泰三	" 16. 9. 7	" 17.12.20
12	佐藤真佐男	" 17. 7.23	" 22. 4.29	29	島永孝	" 54. 5.14	" 56.12. 8	46	税所史熙	" 17.12.20	" 19. 4.30
13	佐藤真佐男	" 22. 6. 9	" 23. 4. 7	30	藤山増美	" 56.12. 8	" 58. 4.30	47	牛嶋弘	" 19. 5.24	" 20.12.22
14	大塚勇次郎	" 26. 6. 5	" 26. 4.29	31	宮原光男	" 58. 5.18	" 60. 9. 6	48	竹原孝昭	" 20.12.22	" 22. 3. 2
15	大塚勇次郎	" 26. 5.15	" 30. 4.30	32	大石文夫	" 60. 9. 6	" 61.12.15	49	坂田誠二	" 22. 3. 2	在任中
16	兼坂安次	" 30. 5.21	" 34. 4. 8	33	内田幸吉	" 61.12.15	" 62. 4. 3				
17	打出信行	" 34. 6.12	" 36. 3.24	34	西村建治	" 62. 5.22	" 63.12.16				

■歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	下田一	明治 22. 4.26	明治 24. 1.21	20	加川恒次	昭和 23. 6. 5	昭和 26. 4.29	39	北口政義	昭和 60. 9. 6	昭和 61.12.15
2	下田耕造	" 24. 1.22	" 31. 5.22	21	北上利次	" 26. 5.15	" 28. 9. 5	40	吉村政義	" 61.12.15	" 62. 4.30
3	片山甚十郎	" 31. 5.23	" 32. 2. 7	22	上野勉吉	" 28. 9.25	" 30. 4.30	41	竹村本裕	" 62. 5.22	" 63.12.16
4	林定男	" 32. 2. 8	" 36. 2. 5	23	森光吉	" 30. 5.21	" 32.12.28	42	村本平裕	" 63.12.16	平成 2. 3.26
5	出田彦太郎	" 36. 2. 6	" 36. 2.11	24	吉村貞次	" 34. 6.12	" 35. 3.21	43	伊藤公	" 2. 3.26	" 3. 4.30
6	園板交雅	" 36. 2.12	" 36. 5.11	25	坂梨村	" 35. 3.21	" 37. 7. 9	44	西伊平	" 3. 5.17	" 5.12. 3
7	園板交雅	" 36. 5.12	" 37. 2.12	26	吉村貞次	" 37. 7. 9	" 38. 4.30	45	伊藤寛正	" 5.12. 3	" 7. 4.30
8	園板正軌	" 37. 2.13	" 40.11. 4	27	石井貞次	" 38. 5.18	" 41. 7. 4	46	宮原誠一	" 7. 5.19	" 9. 3.27
9	園板正軌	" 40.11.14	" 42. 1.27	28	吉村貞次	" 41. 7. 4	" 42. 4.30	47	鈴木昌彦	" 9. 3.27	" 11. 4.30
10	河井田	" 42. 1.28	大正 2. 4.30	29	佐藤次子	" 42. 5.20	" 44. 3.24	48	岡田健弘	" 11. 5.21	" 13. 6. 8
11	井田能謙	" 2. 5.10	" 6. 4.30	30	古川尾国	" 44. 3.25	" 46. 6.28	49	岡田健弘	" 13. 6. 8	" 14. 6.18
12	井田能謙	" 6. 5.15	" 7. 3.10	31	岩尾三	" 44. 9.13	" 46. 4.30	50	奥田清文	" 14. 6.18	" 15. 4.30
13	藤野乱	" 7. 3.11	" 10. 9.30	32	阪本富	" 46. 5.20	" 48. 6. 6	51	竹原弘昭	" 15. 5.23	" 16. 9. 7
14	水田誠	" 10.10.14	" 14. 9.30	33	荒井美	" 48. 6. 6	" 50. 4.30	52	家田清文	" 16. 9. 7	" 17.12.20
15	河平規	" 14.10.12	昭和 4. 9.30	34	藤山増	" 50. 5.16	" 52. 6. 4	53	磯田道中	" 17.12.20	" 19. 4.30
16	野上龍起	" 4.10.12	" 9. 5. 7	35	矢野重	" 52. 6. 4	" 54. 4.30	54	磯田道中	" 19. 5.24	" 21. 3.25
17	橋本七	" 9. 5. 8	" 17. 5.20	36	上三	" 54. 5.14	" 56.12. 8	55		" 21. 3.25	在任中
18	西郷一	" 17. 6.11	" 22. 4.29	37	田武	" 56.12. 8	" 58. 4.30				
19	大塚勇次郎	" 22. 6. 9	" 23. 6. 5	38	白石正	" 58. 5.18	" 60. 9. 6				

■市議会議員 (平成22年3月2日現在)

氏名	会派	氏名	会派
坂田 誠二	自民党	村上 博	市民連合
田中 誠一	未来	東 すみよ	市民連合
くつき信哉	自民党	日和田よしこ	公明党
紫垣 正仁	自民党	藤岡 照代	公明党
田中 敦朗	未来	下川 寛	未来
重村 和征	未来	田尻 清輝	未来
那須 円	共産党	北口 和皇	自由ク
上田 芳裕	市民連合	中松 健児	市民連合
前田 憲秀	公明党	佐々木 俊和	市民連合
原 亨	自民党	田尻 将博	市民連合
澤田 昌作	自民党	田辺 正信	市民連合
倉重 徹	自民党	家入 安弘	市民連合
満永 寿博	自民党	鈴木 弘	公明党
大石 浩文	未来	竹原 孝昭	自民党
高島 和男	未来	古川 泰三	日本教育
田尻 善裕	未来	牛嶋 弘	自民党
上野 美恵子	共産党	税所 史熙	自民党
東 美千子	市民連合	落水 清弘	自民党
有馬 純夫	公明党	江藤 正行	自民党
三島 良之	自民党	主海 偉佐雄	自民党
齊藤 聰	自民党	嶋田 幾雄	自民党
津田 征士郎	自民党	益田 牧子	共産党
白河部 貞志	未来	上村 恵一	市民連合
藤山 英美	未来	西 泰史	公明党
		磯道 文徳	公明党

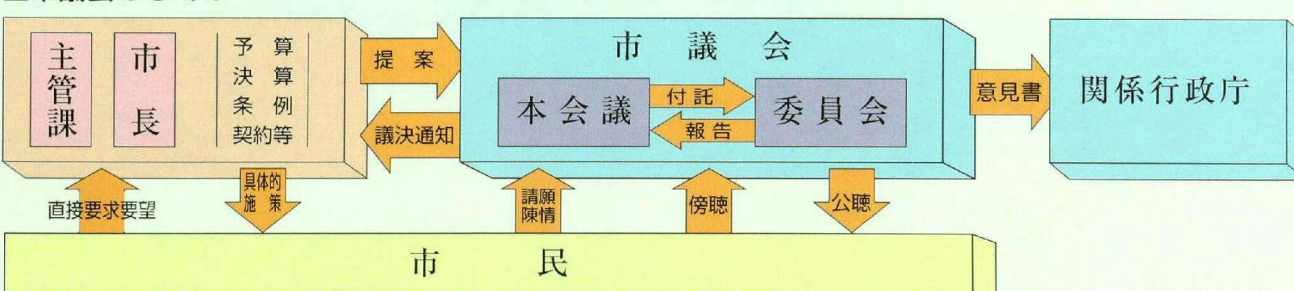


本会議場

■常任・特別委員会 (平成22年3月2日現在)

名称	定数	所管事項
常任委員会		
予算決算委員会	49	予算及びこれに関連する事項 決算及びこれに関連する事項
総務委員会	8	総務局、企画財政局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
教育市民委員会	8	市民生活局、教育委員会の所管に属する事項
保健福祉委員会	8	健康福祉局、子ども未来局、病院局の所管に属する事項
環境水道委員会	8	環境保全局、上下水道局の所管に属する事項
経済委員会	9	経済振興局、農業委員会の所管に属する事項
都市整備委員会	9	都市建設局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会	13	議会運営に関する調査
特別委員会		
政令指定都市実現に関する特別委員会	12	政令指定都市実現に向けた対策の推進並びに道州制における州都に関する調査を行うこと
出資団体等の調査に関する特別委員会	12	本市が出資する団体の業務運営のあり方や経営の健全化など諸問題の調査を行うこと
中心市街地の活性化に関する特別委員会	12	中心市街地活性化及びこれに関連する事業の諸問題と対策に関する調査を行うこと

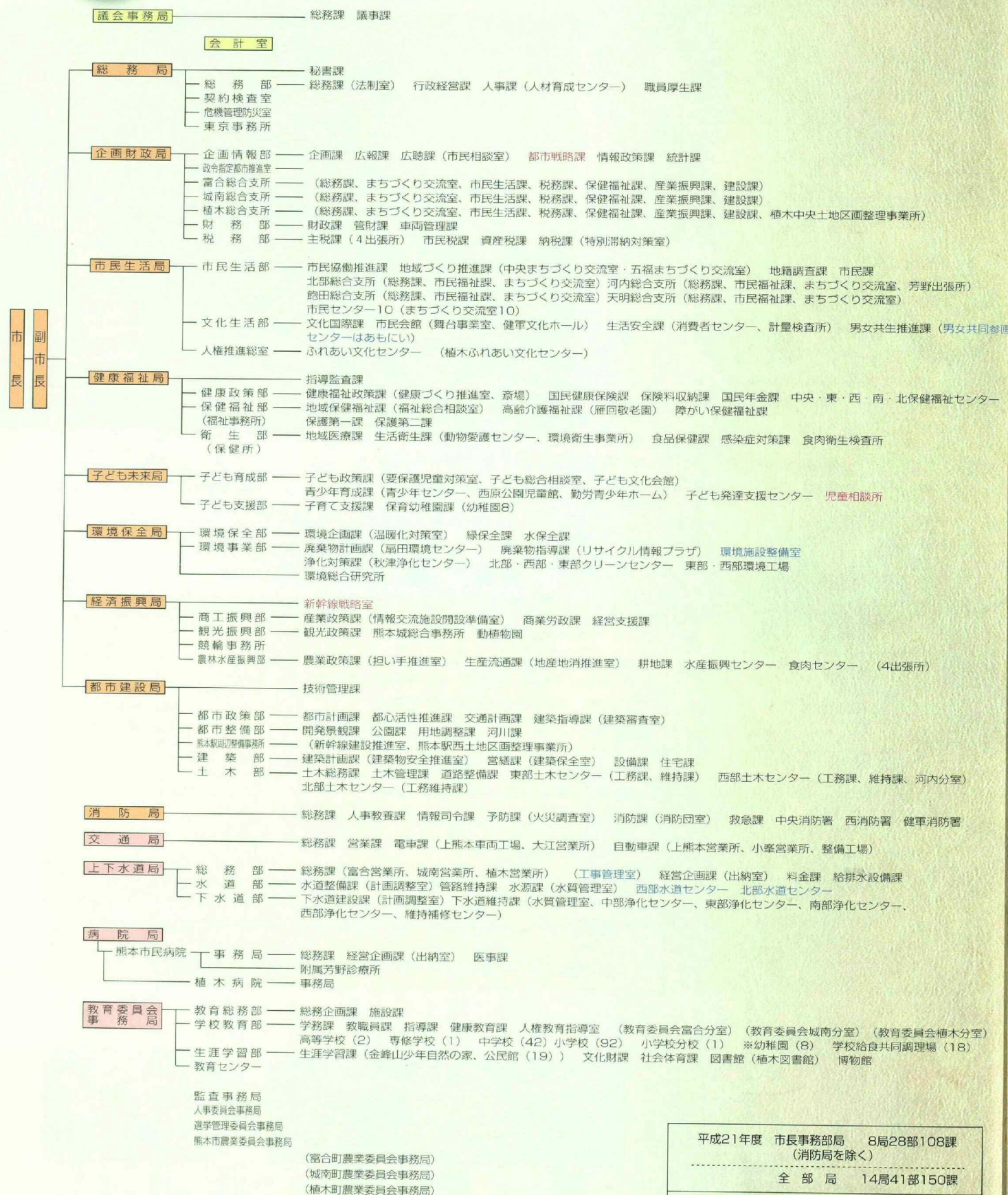
■市議会のしくみ





平成22年度 熊本市機構図 (平成22年4月1日現在)

Kumamoto City

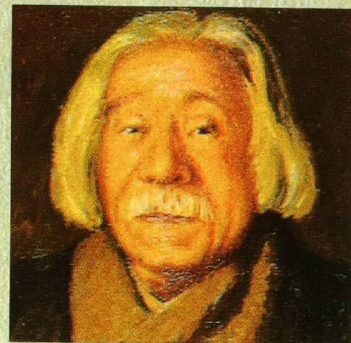


赤字は新設、青文字は統合、名称変更等

平成21年度	市長事務部局	8局28部108課 (消防局を除く)
全部局		14局41部150課
平成22年度	市長事務部局	8局30部111課 (消防局を除く)
全部局		14局43部153課

徳富蘇峰(本名・猪一郎)氏
(昭和30年1月1日表彰)

明治-昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年民友社を設立「国民之友」、同23年「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。
文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏

(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として東洋語学専門学校の校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。
明治16年1月1日生れ、昭和32年5月6日死去、74歳。



細川護立氏

(昭和35年4月1日表彰)

旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽した。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。
明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



福田令寿氏

(昭和35年4月1日表彰)

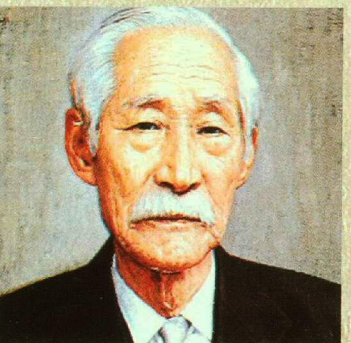
医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名正らに学び受洗。エジソン大医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所紫苑会治療所を創立。県医師会長、公選の県教育委員、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づき生涯を貫いた。
明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



宇野哲人氏

(昭和44年10月1日表彰)

漢学者。東京大学名誉教授。東方文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国(中国)に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。
明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。



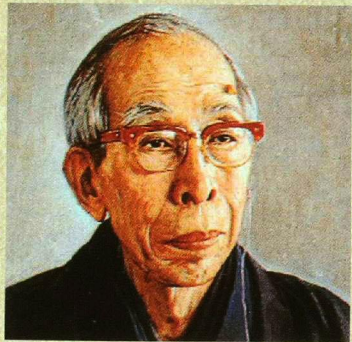
名誉市民

Kumamoto's Honorary Citizens
명예시민

堅山南風(本名・熊次)氏

(昭和44年10月1日表彰)

日本画家。明治42年、22歳のとき上京。大正2年第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年、文展審査員。戦後は文化勲章受賞など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊市民会館縦横「火の国讃舞」などがある。
明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤是山(本名・祐太郎)氏

(昭和54年10月1日表彰)

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰郷後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年、俳誌「かはがらし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の勤皇」、編書に「肥後国誌」がある。
明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村汀女(本名・破魔)氏

(昭和54年10月1日表彰)

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。
明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。



安永落子氏

(平成21年10月1日表彰)

宮中歌合始詠進歌選者を務めるなど日本を代表する女流歌人。歌誌「稚の木」を主宰。平成3年には歌壇の最高賞である道空賞を受賞。また、書家としても顕著な功績を収める。熊本県教育委員会委員、熊本県文化協会会長などの要職を歴任、本市の教育・文化の発展に多大な功績。勲四等瑞宝章受章。くまもと県民文化賞受賞。熊本県近代文化功労者。
大正9年2月19日生れ。

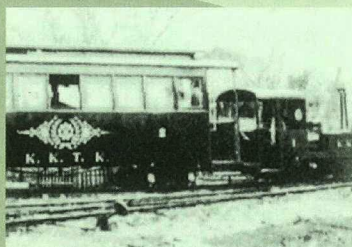


熊本市のあゆみ

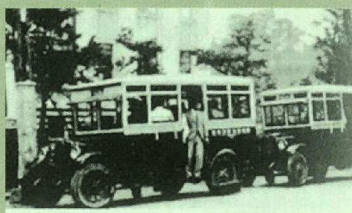
1800	明治22年 大日本帝国憲法公布	明治3年 4年	古くに医学堂が創設 廃藩置県により熊本県が設置 鎮西鎮台（九州及び中国西部を管轄）が設置 熊本洋学校が創立 西南の役、市街地の大半が兵火により焼失 第五高等学校（九州1校）が創立 市町村制が施行され熊本市が誕生 現在の白川公園前に市役所が開庁 門司・熊本間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）五高に着任 塘林虎五郎が児養（大江学園）を設立 ハンナ・リデル女史が回春病院設立 夏目漱石が五高に着任 ジョン・メリー・コール神父がらい救済の徒勞院設立 市立避病院設立（後の白川病院）
	明治27年 日清戦争～28年	25年 28年 29年 31年	市内に大洪水、白川橋流失し子飼橋付近溺死者多数 市内の電話が開通 熊本高等工業学校設立 安巳橋・水前寺間に軽便鉄道敷設 鹿児島本線全線開通
1900	明治37年 日露戦争～38年	33年 34年 39年 40年 42年	市立実科高等女学校開校 市立工業徒弟高等学校開校 菊池軌道株式会社が上熊本・広町間敷設 熊本軌道が田崎・百貫港、田崎・高麗門に開通
1910	大正3年	大正2年	第1回国勢調査 市人口70,338人、戸数13,817戸 隣接11カ町村合併（黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山） 市立実科高等学校が市立高等女学校となる 手取本町に市役所新庁舎完成 市営電車開通 開通に伴い大甲橋を架設 市三大事業（市電・上水道・23連隊移転）完成 記念共済会開催（入場者133万人） 出水村を市に合併 長六橋を近代式鉄橋に架け替える 市営バス発足（バス17台） NHK熊本放送局でラジオ初放送 御大典記念事業として陸上競技場・野球場が完成 水前寺動物園が開園
1920	第一次世界大戦	9年 10年 11年 12年 13年 14年	熊本市歌を制定 市営勸業館が新市街に開館 市公会堂新館が開館 白坪村を市に合併 画図村を市に合併 新興熊本大博覧会を開催 健軍村を市に合併 清水村を市に合併
1930		5年 6年 7年 10年 11年 14年	川尻町、日吉村、力合村を合併 市営バスに木炭車登場 九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足 健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する 市電氣局が市交通局と改称 市立本荘産院が発足 市立市民病院発足 市消防本部設置 市立母子寮を設置 「火の国まつり」開始 市立実務員養成所（後の実務商業）を開設 市立熊本保健所を上林に開設
1940	昭和18年 太平洋戦争～20年 昭和21年 日本国憲法公布	17年 18年 19年 昭和20年 21年 23年 24年	



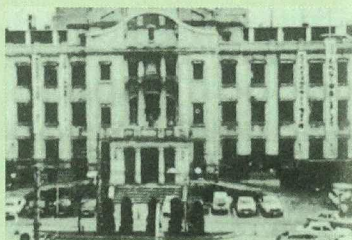
市内の電話開通



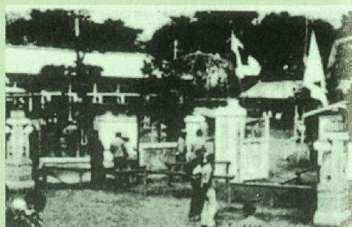
軽便鉄道



市バス

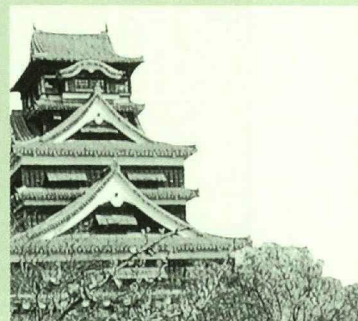


市役所新庁舎



水前寺動物園

1950	昭和26年 サンフランシスコ講和 条約調印	昭和27年 28年	市立博物館開館 田迎村、御幸村を市に合併 豪雨、大水害で市人口の66%が罹災 池上村、高橋村、城山村を市に合併 ラジオ熊本開局 秋津村を市に合併 市電30年記念「交通観光博覧会」開催 松尾村を市に合併 小島村、龍田村を市に合併 大水害で市の33%浸水、山津波による死者、行方不明者 中島村を市に合併
		29年 30年 32年 33年	熊本空港開設 熊本城天守閣再建完成 第15回国民体育大会を開催 天守閣再建記念「役員熊本大博覧会」 市総合計画策定 市民会館開館 熊本動物博覧会を開催（水辺動物園が完成）
1960	昭和39年 東京オリンピック開催	35年 37年 39年 43年 44年	託麻村を市に合併 九州縦貫自動車道（熊本ー植木間）開通 「森の都」宣言 地下水保全都市宣言 健康都市宣言 中国・桂林市と友好都市締結
1970		45年 46年 47年 51年 54年	産業文化会館が開館 新市庁舎建設完成 総合体育館、青年会館開館 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結 市制施行100周年「熊本百彩」開幕
1980		56年 61年 62年 平成元年	総合婦人会館・カルチャーセンター」オープン 「水資源国際会議」を開催 「水の科学館」開館 熊本市と飽託郡4町が合併 南部スポーツセンターオープン 動植物園がオープン ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式 大名屋敷・旧細川刑部邸完成 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕 ゆうあいピック熊本大会開催 国際交流会館オープン 福井市と姉妹都市締結 環境総合センターオープン 環境保全都市宣言 中核市移行 くまもとお城まつり開幕 さくらカード（優待証交付事業）スタート 男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催 超低床電車、ノンストップバス運行開始 「アクアドームくまもと」完成 中核市サミット'98in熊本開催 「くまもと未来国体」開催 全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと」開催 全国マスターズ陸上競技選手権大会を開催 「ひのくに新世紀総体」開催
1990	平成7年 阪神・淡路大震災	2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 11年	熊本市現代美術館オープン 国際環境都市会議くまもと2002開催 熊本市個人情報保護条例施行 託麻スポーツセンター体育館オープン 「観光立市くまもと」都市宣言決議 アジア太平洋都市サミット第5回実務者会議開催 市政情報プラザ開設 「熊本市圏及び政令指定都市についての研究会」設置 世界女性スポーツ会議くまもと開催 熊本城築城400年 熊本市中心市街地活性化基本計画認定 「ウェルバル熊本」オープン 熊本城本丸御殿落成一般公開 熊本市と富合町が合併 家庭ごみの有料化開始
2000	平成10年 長野オリンピック開催	14年 15年 16年 18年 19年 20年 21年	



熊本城



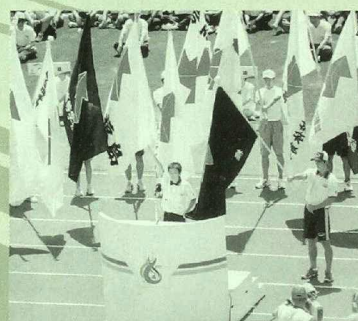
新市庁舎



四町合併



スポーツ都市宣言



国体



世界女性スポーツ会議くまもと

市民の Life in Kumamoto 暮らし



世帯人口 1世帯当り2.4人



人口密度 1km²に2,369人



乗用自動車(軽自動車を含む) 1世帯に1.1台



出生 1日につき19.1人



死亡 1日につき14.6人



転入 1日につき76.5人



転出 1日につき77.9人



結婚 1日につき12.2組



離婚 1日につき4.2組



犯罪 1日に22.9件



火災 1日に0.5件



交通事故 1日に14.1件



酒 1人1日0.06リットル



市職員(消防職員を含む) 市民111人に1人



消防職員 市民1,077人に1人



水道使用量 1日1人あたり237ℓ



ごみの収集量 1日に737.4トン



市税 市民1人当り136,455円



市の予算 市民1人当り310,139円

(人口関係は平成21年分、予算は平成21年度当初予算額、その他は平成20年又は20年度分の数値)



資料編

Kumamoto City

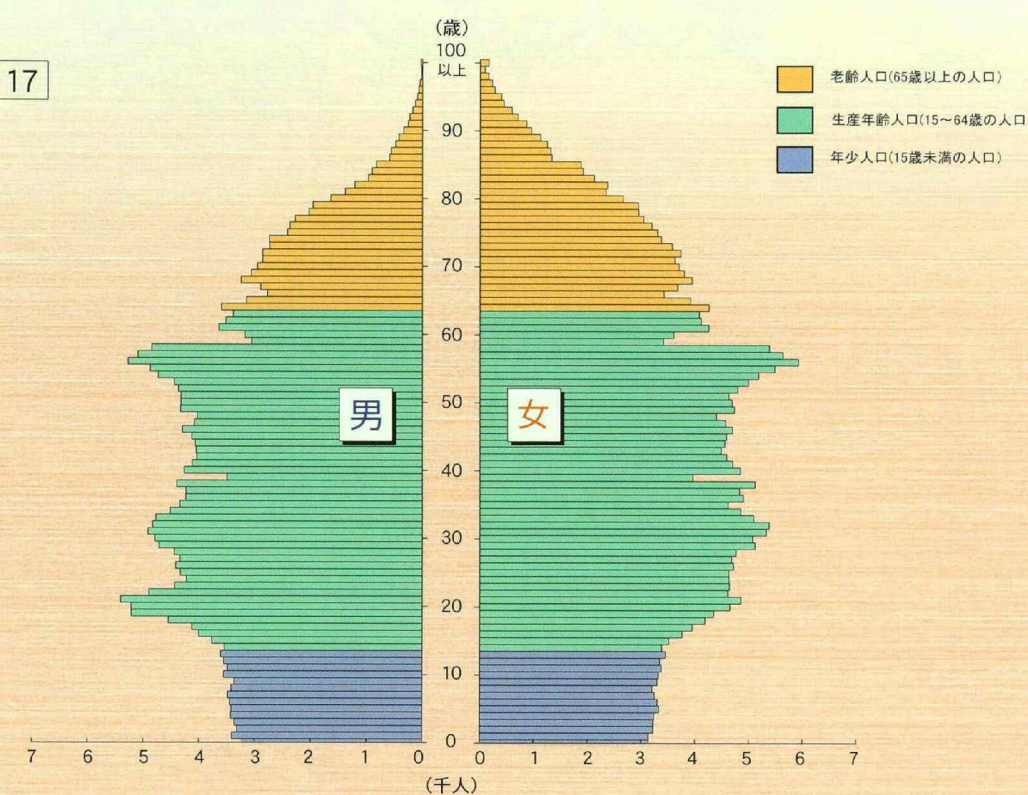
熊本市の人口推移

一進む少子高齢化一

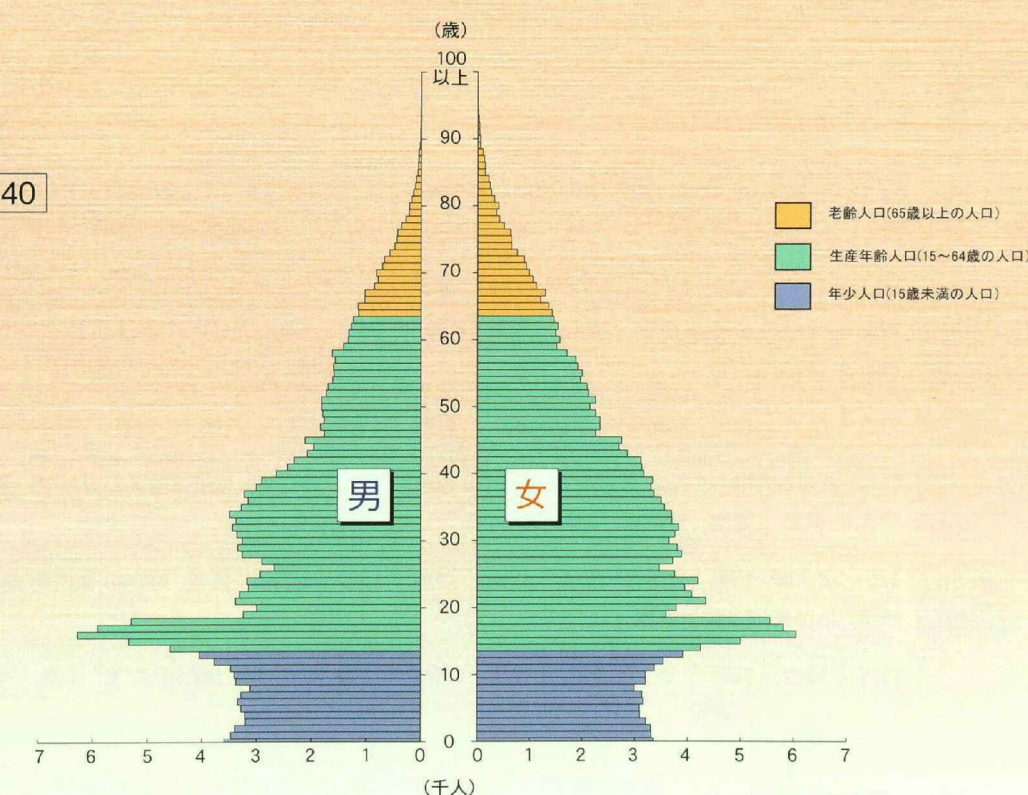
人口の推移を人口ピラミッドで見ると、少子高齢化が急速に進んでいることがわかります。

人口ピラミッド(国勢調査結果) (注) 現市域組替

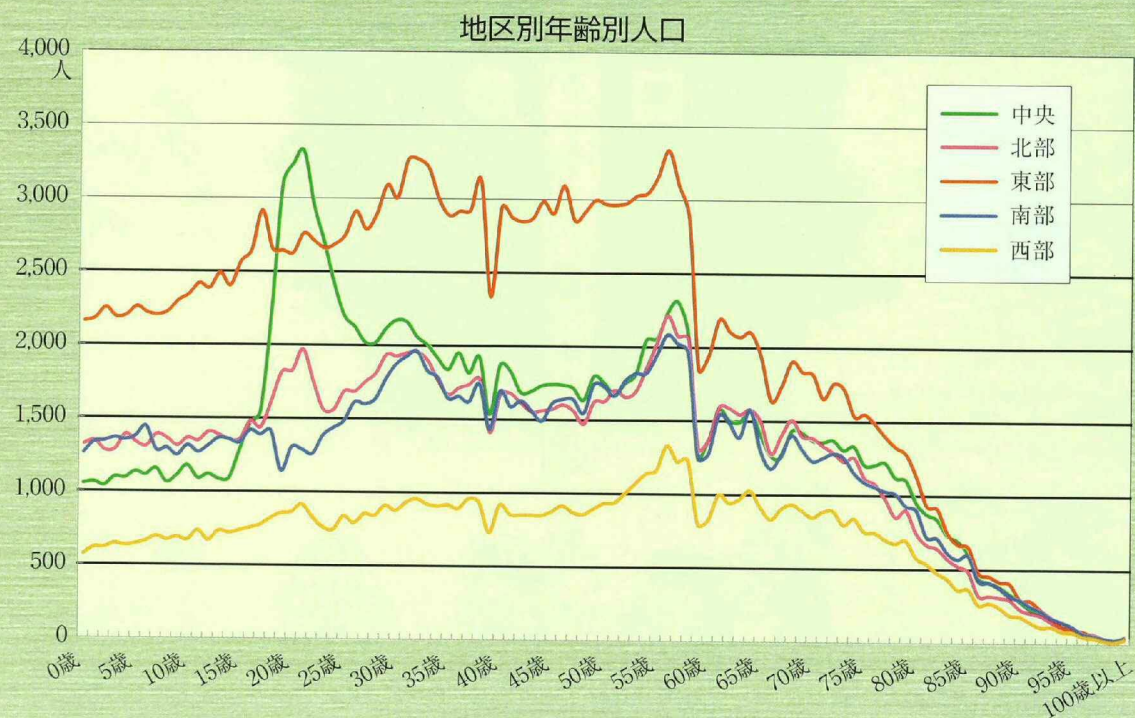
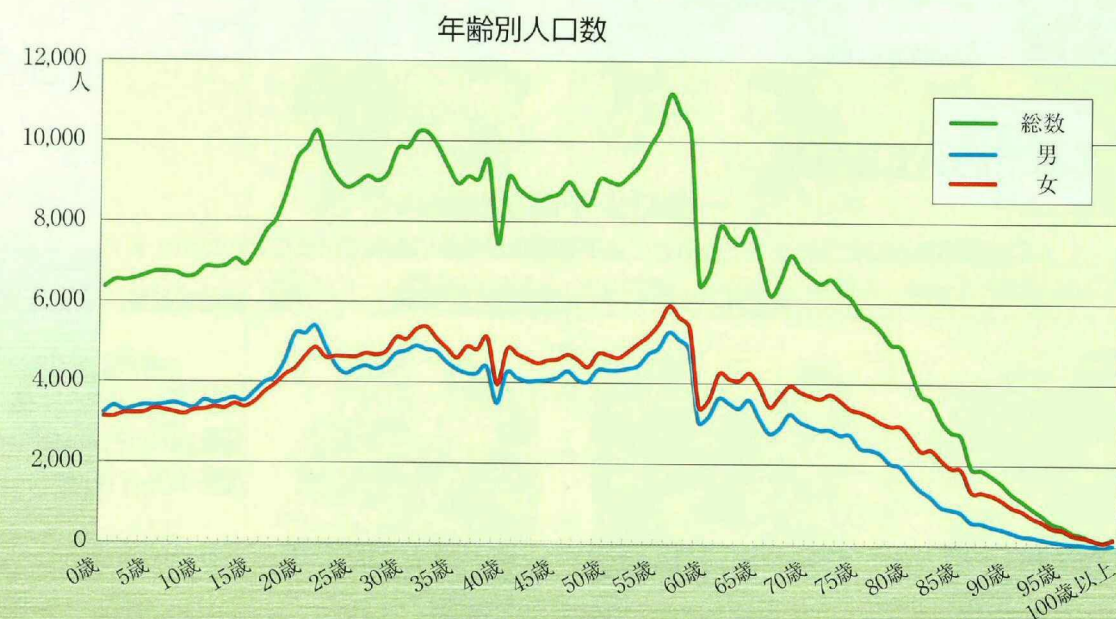
H17



S40



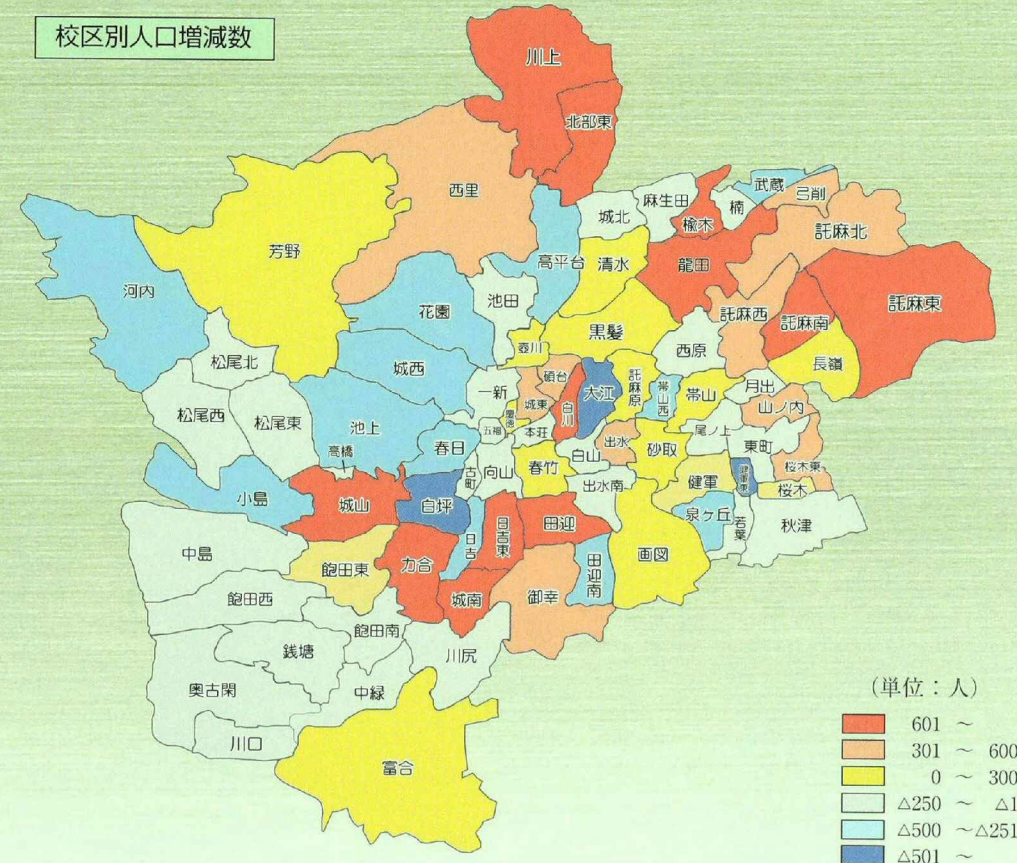
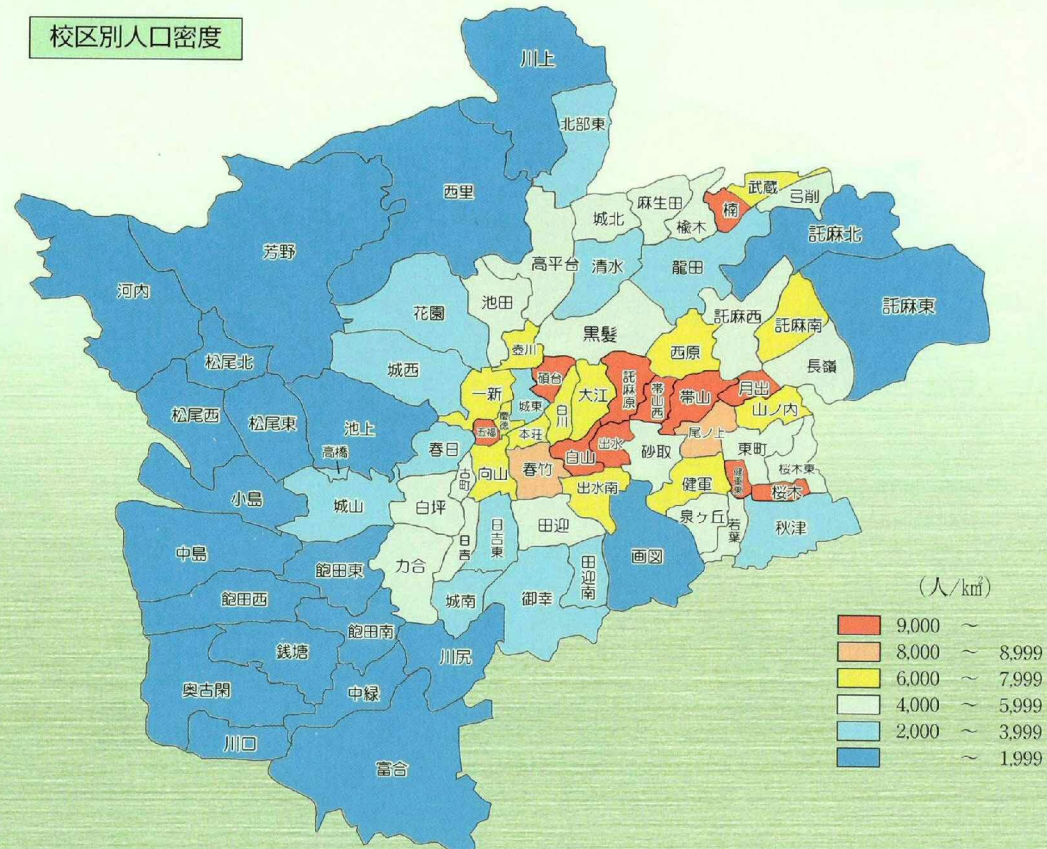
■年齢別人口（平成17年国勢調査結果）（注）旧富合町分を含む



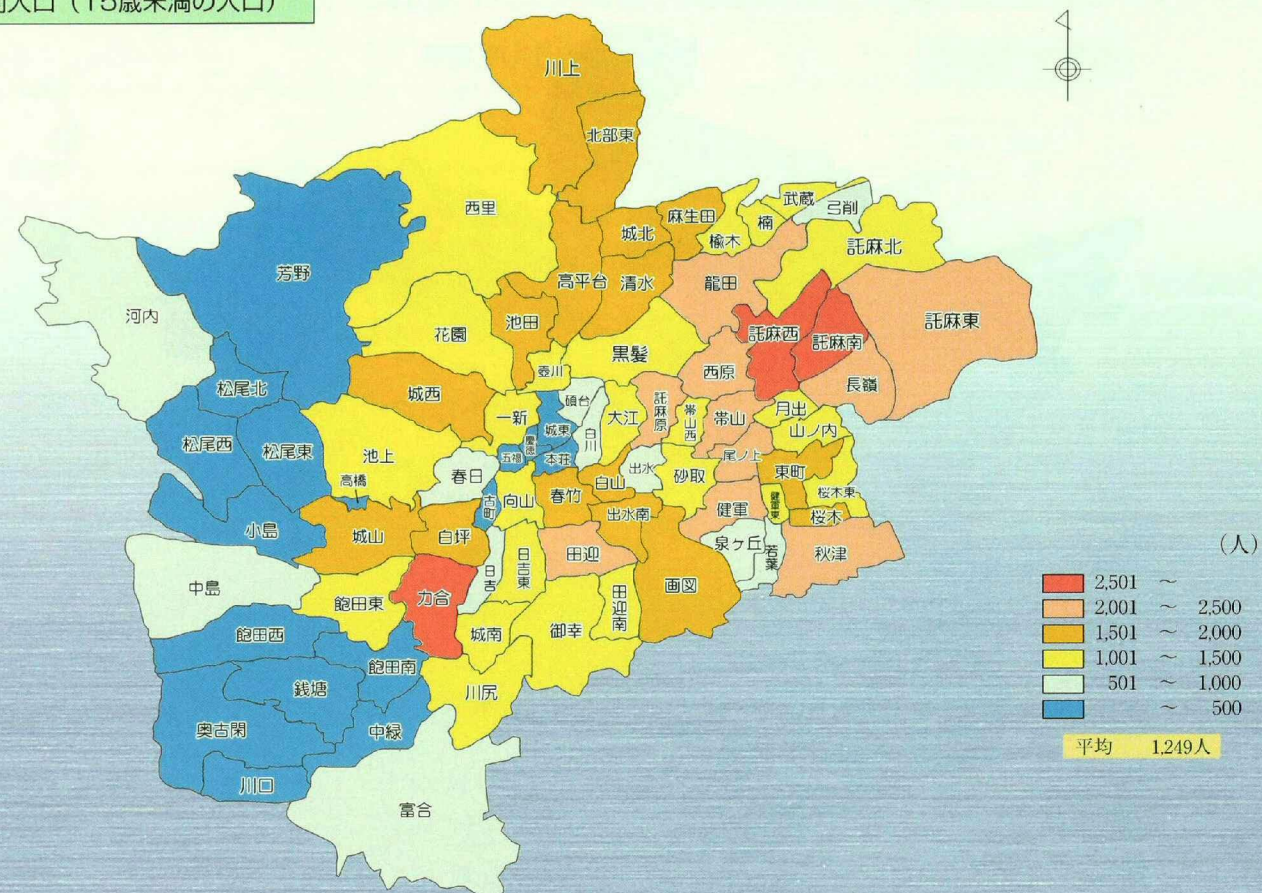
中央地区	城東 古町	壺川 春日	碩台 一新	白川	大江	黒髪	託麻原	出水	白山	春竹	本荘	慶徳	五福	向山
北部地区	池田	西里	川上	北部東	高平台	清水	城北	麻生田	楡木	楠	武蔵	弓削	龍田	
東部地区	西原	託麻西	託麻北	託麻東	託麻南	長嶺	月出	常山	常山西	砂取	尾ノ上	山ノ内	東町	桜木東
南部地区	画図	出水南	田迎	田迎南	御幸	川尻	中緑	川口	奥古閑	銭塘	鮑田西	鮑田南	鮑田東	力合
西部地区	城南	日吉東	日吉	富合										
	白坪	城山	高橋	池上	城西	花園	芳野	河内	松尾北	松尾西	松尾東	小島	中島	

■地図でみる校区別人口データ（平成17年国勢調査結果）（注）旧富合町分を含む

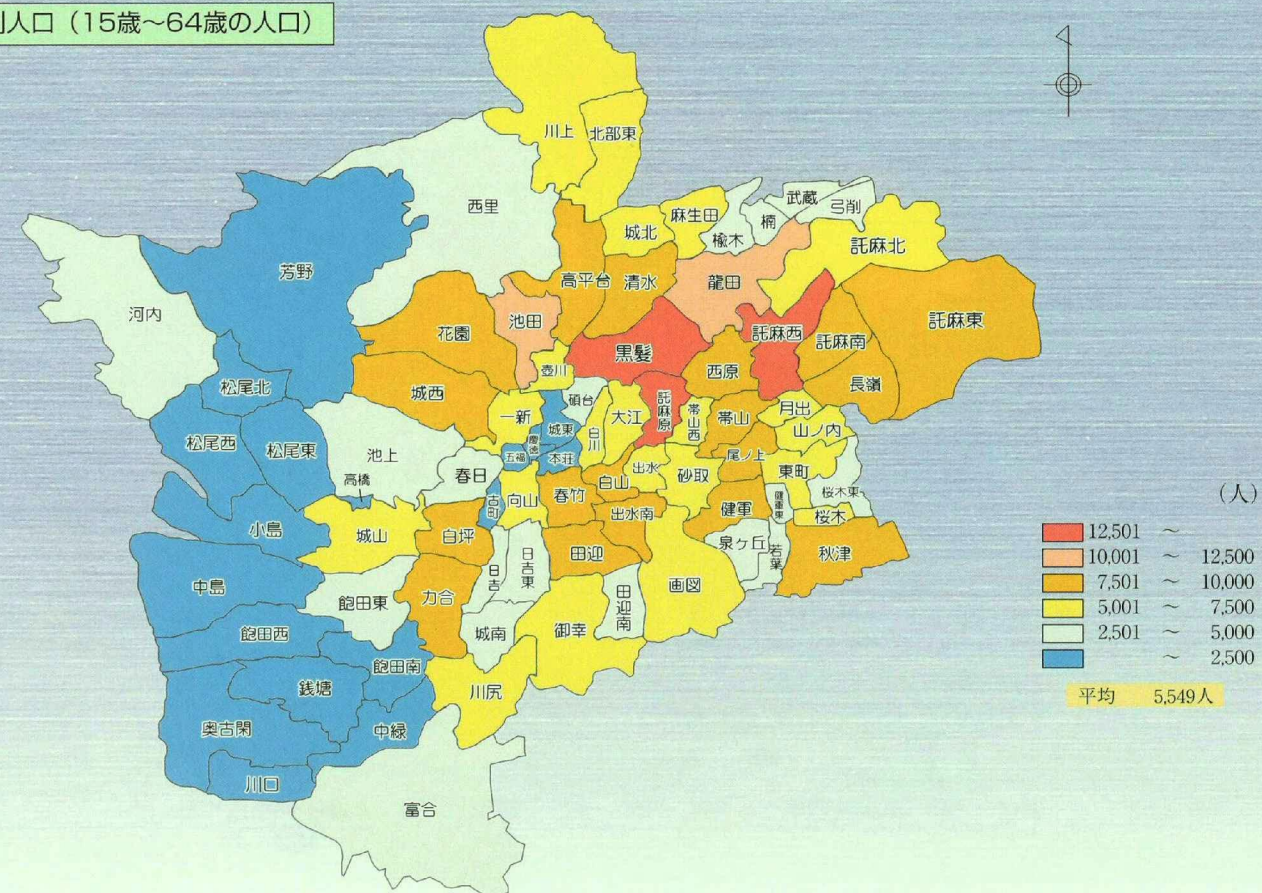
※ここで掲載する校区別集計の校区とは、本市教育委員会が設定する小学校区域とは必ずしも一致しません。



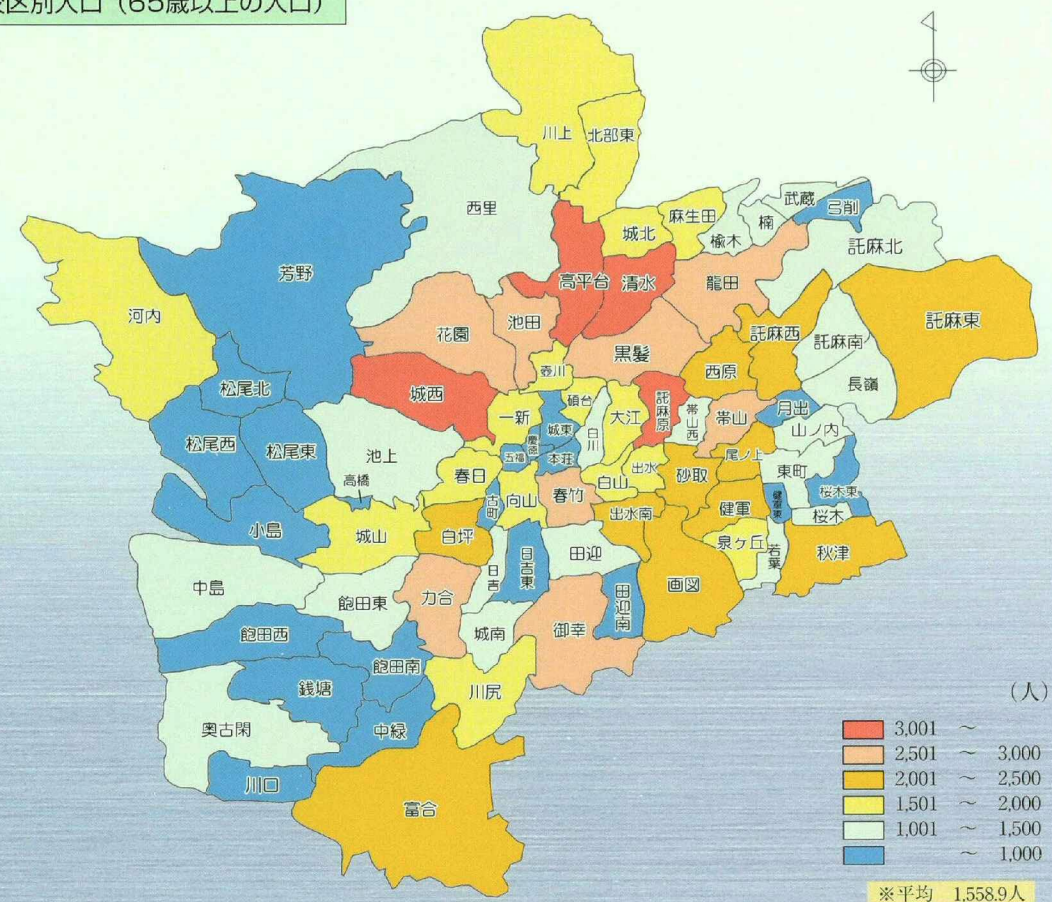
校区別人口（15歳未満の人口）



校区別人口（15歳～64歳の人口）



校区別人口（65歳以上の人口）

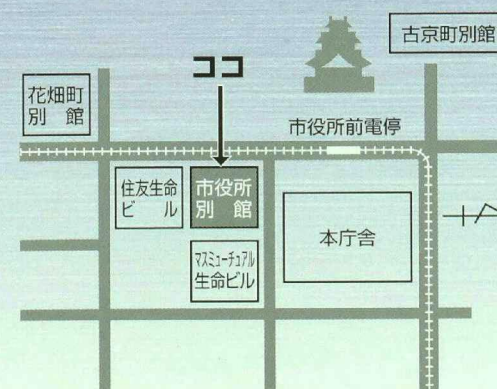


統計情報室（統計課）の紹介

- ・場 所 市役所別館（自転車駐輪場）6階
- ・主な蔵書 国勢調査報告書、その他統計調査報告書
市勢要覧、統計書、など
- ・閲覧自由 ・複写（有料）

ホームページによる情報提供

- ・「統計情報室」ホームページアドレス
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/tokei/>
- ・「統計でみる熊本市」ホームページアドレス
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/toukei/top/index.htm>



平成21年度 熊本市勢要覧

印刷発行／平成22年4月
編集発行／熊本市企画財政局
企画情報部統計課
熊本市手取本町1番1号
TEL 096-328-2111
印刷所／コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291

Kumamoto City



熊本市

Guide to Kumamoto City
Administration and Life
구마모토시 시세 요람



センサくん



平成22年10月1日 全国一斉に国勢調査が実施されます。